

炊き出しボランティア通信 vol 51

2011,8月

炊き出し 8月13日(土) 晴

9:00 ~ 北仙台教会(準備)

12:00 ~ 五橋公園(炊き出し)

公園に集まった方は54人(女性3人)でした。ボランティア参加の生徒は、本校から9人でした。その内5人の2年生はボランティア同好会ですが、4人の1年生は「夏休みボランティア体験」の生徒たちです。「夏ボラ」には他校生もあり、総勢16人の高校生ボランティアが参加しました。Wさん嬉しそうでしたが、ご指導くださった正平協スタッフの方たち大変だったと思います。それと今回も思ったのは、夏ボラの時だけでも、男子高校生がなぜ一人もいないのかなあということでした。本校が女子の学校なのでなおさらそう思われました。



○わたしは3回目の参加だったのでスムーズに仕事をする事ができましたと思います。暑かったけれど一生懸命調理の手伝いや、現地では靴の提供係をしました。ホームレスの方に靴の紙の書き方をうまく説明することができませんでした。炊き出しは大変だけど、いつも自分を成長させてくれるので、やっていてとても楽しいです。次回に向けての自分の課題——「包丁を練習する」(2年)

○今回初めてボランティア同好会としてボランティアに参加しました。わたしは調理班で仕事をしていたのですが、思った以上に包丁と格闘してしまい、大変でした。おにぎりも今までにないくらいにぎりました。ホームレスの方たちに食べてもらいとても嬉しかったです。次回の参加の時はもっとテキパキとできるようにしたいです。(2年)



○今回のボランティアに参加して炊き出しや生活用品を出しながら思ったのは、ホームレスの人がおかわりを何回もしていたこと、そして、生活用品を選んでいてとても楽しそうだったことでした。初めてやってみて、こんなにも喜んでくれる人がいてよかったと思いました。(1年)

○いかにおにぎりをきれいにそして食べやすく速く作るかを優しく笑顔で教えていただいたことが嬉しかったです。反省点は野菜を速く丁寧に切ることができなかった点です。(2年)

○よかったのは、たくさんの人と協力しながらたがいに助け合ってできたことです。ホームレスの方にもとても喜んでもらい、笑顔でありがとうと言われたり、色々な話をしてくれて、とても良かったです。いい経験ができました。(2年)



(はい、楽しかった人は、へんな顔ポーズをどーぞ!)

夜回り 8月11日(水) 8:30~9:30PM 晴れ 暑し

Tnさんという大変熱心な信者さんと一緒。国際センターの裏手ベンチはいつものとおり。会話なし。表ベンチに近づき、こんばんは正平協です、味噌スープいかがですか？—えっ？いくらだ？ 無料です—それならもう。どうもいつものおじさんではないな、と感じた。おじさんどちらからですか？—山形から。きょう自転車で来た。土曜日炊き出ししてますから来て下さい、と告げた。いつもの人不在。

大橋下のKuさんは、夜回り出発前のHさんからの伝達で、六魂祭の日に清掃が来てあそこは全部なくなった。—えっ、市の係が？ いや、あそこは国土交通省。—さっすがア、Kuさん。宝の山を国税で撤去されたんだア。で、今どこに？ 東北大北門前、プロテスタント教会隣のヤナギマチ公園に今いて、今度はそこに少しずつまたゴミを持ってきてためているって話よ。—追い出されてもめげずに健やかに暮らすKuさんがすぐに浮かんで来て、思わずニヤツとした。自分の夜回りコース外になったが今度顔出ししてみようと思った。

西公園の石ベンチStさんは起きていて、背中を木にもたせかけているのが遠くから灯りで見えた。きょうも暑いですねえ。ずっとここですか？—昼間はここにはいません。炊き出し来てませんよね。—会いたくない人がいるので。ホームレスのところへ来る人のことらしかったが、今回はそれ以上聞かなかった。

陸橋下のOさんがいない。何度も名前を呼びながら、シートの中を照らしてみる。中は荷物が散乱していて、人の住んでいる気配はなかった。せいぜい月に一度訪問するだけなのに、いるのが当然のように思いこんでいる方が、思い上がりというものかと思う。ショックだった。

念のため翌日の朝再訪してみたが、同じだった。Wさんに聞いてみたが、情報は得られなかった。

献品 小学校から衣類と食品の献品をたくさん預かりました。ありがとうございました。高校職員からの献金と献品も預かりました。ありがとうございました。

萌友の炊きだし 8月20日(土)晴 12:00 ~ 五橋公園

五橋公園に10時集合。本校からは同好会と夏ボラの1年生が8人参加しました。他にSb高・Sy学園・Sk学院等4人です。Hさんの指令でおいしいカレーライスとサラダができてゆきました。本校の参加生徒たちはサラダの野菜切りを手分けしてやっていましたが、それが、恐くて見ていられない。つい口をだしてしまう。家の台所でいかにお母さんのお手伝いをしていないのかがよく露呈されていました。

ところでHさんに夜回りでのOさん不在の話を伝えると、びっくりして早速どこかへ電話してくれて、すぐさま状況が分かりました。最近ずっと腹が痛い痛いといくり返していたいたOさんは、医者通いを続けていて、ついに入院し、退院した後そのままSrホームに入所したとのことでした。いまはもう非常に元気であるとのこと。Srホームはオノさんがあれほどいやがっていた仙台市の路上生活者等支援施設で

す。なじみの場所にもう戻ってこないのは、寂しくなりましたが、Oさんにとってよい転機です。祝福しなければなりませんでしょう。それを教えてくれたHさんにも感謝です。



○現地での準備と炊き出しに手伝いをさせていただきました。たくさんのホームレスの方がいてびっくりしましたが、喜んでくれたのでうれしかったです。(1年)

○いろんな方と関われたことはとても良かったです。反省点は最初のほうで何をすればいいのかわからなくてうろろしていたのでまわりに迷惑をかけたと思います。しかし今回でいろいろ学べたのは本当によかったです。次回に活かして頑張りたいです。(1年)

○よかったことはカレーやサラダを作ったことでホームレスの人たちが喜んでくれたことです。反省点は食材がうまく切れなかったことです。(1年)



炊き出しボランティア通信

vol52

2011,9月

炊きだし 9月10日(土) 9:00 ～北仙台教会で準備 12:00 ～五橋公園

今日も暑い日。公園に集まった方は実質57人(女性2人)でした。本校からは8人のボランティア同好会1年生が参加しました。3年生から1年生へシフトしています。今回はもの静かな4人とお喋りで元気な4人というおもしろい組み合わせになりました。それなりにそれぞれに、ぼっとする暇もなく、よく働きました。



○初めての炊き出しだったが、他の人と協力してできてよかった。なかなかできることではないので、よい経験になったと思う。次の時にはもっと積極的に手伝いたいと思う。(1年)

○思ったより大変だったけど、たくさんの人と協力しながら炊き出しをして、ホームレスの方々も喜んでくれていたので本当によかったと思います。(1年)

○初めての参加で、最初とても不安でいっぱいだったけど、ちゃんと対応することができたと思う。また今回参加してみて、世の中の現実を少し知ることができたと思う。今後も参加してゆきたいと思う。(1年)

公園での炊き出しの前に、きょうは年に一度の「偲ぶ会」がお坊さんをお招きして営まれました。この一年の間に路上で亡くなった方たちを弔います。昨年一緒にお祈りをささげてくださったカトリックの司祭も亡くなったと聞いて驚きました。



○たくさんのホームレスの方たちにセット袋を渡すとき、「どのサイズがいいですか」と声をかけ、言われたサイズのをあげたら「ありがとう」と言われたのが、とても嬉しかったです。次回参加の時は今回よりも頑張りたいです。でも少しでもホームレスが減るとよいと思いました。(1年)



○積極的に手伝いができたと思います。セット品が足りなかったときはあせったけど最後はちゃんとみんなに渡せたから良かったです。次回も一生懸命頑張ります。(1年)

○今回初めての参加で、どんな人がいるのか正直不安で怖かったのですが、明るい人が多かったので安心して取り組みました。暑い日でとても大変でしたが、誰かのために役に立てたのはうれしかったです。(1年)



は〜い、頑張りました。

夜回り 9月7日(水)20:10~22:00

少し遅くなってから行くと、待っていたWさんから、Hさんが来られなくなったので追廻し方面も頼むと言われた。大分以前に1度Hさんに行ったことはあるが地理が不安だと伝えると、しばらくしてからSmさんと言う青年が同行することになってホッとした。彼は自分探しタイプの青年。医療関係の仕事をしているが現在休職中とのこと。いつものコースに追廻し方面と評定河原橋下が加わった。Smさんはそのコースに詳しいので安心だった。尚かつ、追廻し入り口付近道案内役が迎えに来てくれることになった。国際センター裏の人はいつもどおり。「10年以上も通っていて、いつもおやすみ中なので実はまだ一度も話したことがないんですよ。」というと、Smさんが驚いた。センター表の公園は不在。

道を挟んで青葉山テニスコートへの道に自転車から降りたおじさんが一人立っていた。案内人だった。その自転車に後ろから車でゆっくりついて行った。ついて行けばテニスコート裏の集合所近くまで車を乗り入れることができた。とはいっても暗い道のうえ、迷路になっていた。「あっゴメン、ちょっと引き返して。一本間違えた。」…何しろ10人分の食糧類である。10人分の米袋・カセットボンベ・おにぎり・ゆで卵・蚊取り線香・炊き出し案内紙・希望者への味噌スープなど。昼間詳しく見たことはないが、追廻しの川沿いにコンパクトな小屋を建ててそれぞれのプライバシーを守る形で共同で暮らしていた。中にはコンピュータの一流の技術者も以前いたと聞いたことがある。人間関係がいやで辞めてしまったと言っていた。「今度の土曜の炊き出しは、偲ぶ会が先にありますのでお願いします。」

評定河原橋下には二人分置いてきてくれと言われた。案内のHmさんは手慣れた足取りで「段差を気をつけて下さい。ここはコンクリートに頭をぶつけますから気をつけて。」と言いながら、ひよいひよいと奥へ行った。声をかけると狭い空間におじさんはいた。「二人分ですね。」「はい、そうお願いします。」

西公園のOさんのいた陸橋下は、ビニールも何も既になかった。

Stさんは石のベンチに起き上がって待っていてくれた。

炊き出しボランティア通信 vol53

2011, 10月

炊きだし 10月8日(土) 9:00 五橋公園に集合・準備 12:00 炊き出し

とてもよいお天気。この日は教会が使えない日にあたり、今回は公園に集合しそこですべての準備をしました。外で活動するのにはとてもいい日和です。公園に集まった方は54人でした。本校からは9人のボランティア同好会1年生が参加して正平協の方たちのお世話になりました。うち3人は夏ボラで一度経験しています。皆よく働きました。



準備、OK

何からしたらいいのかな？

○ ホームレスの炊き出しボランティアは今回が初めてだったんですが、自分から行動できたし、みんなで協力して仕事をするのができたのでよかったと思います。それと、思ったのよりもホームレスの方々がたくさん来てくれ、私たちにも気軽に明るく声をかけてくれたのでうれしかったです。(1年)



ただいま打合せ中です。



セット品です。Mですか？Lですか？

- 初めてホームレスの炊き出しに参加しました。最初は何していいのかわからなくてボーッとしていたら指示されました。今度は指示される前に自分から仕事を見つけ、動きたいと思います。それから、私はホームレスは「汚い」とか「怖い」とかいうイメージがありましたが、全然そんなことはなく、イメージが変わりました。参加してよかったと思いました。次回は今回より頑張りたいです。(1年)
- 今回のボランティアに参加して、ホームレスの方の印象が変わりました。たくさんの方に来ていただいて、喜んでいただけたので良かったです。(1年)



今日はあんかけどんぶりご飯です。たくさん召し上がれ。



どのズボンですか？

これどうですか？

- はくさいをうまく切れて良かったです。ホームレスの人が案外おもしろかったです。つくったものが「おいしい」って言われたときはすごくうれしかったです。次回も頑張る。(1年)
- 今回は前回やらなかった服や食べものの配布をやらせていただきました。また違った経験になったのでよかったなと思います。反省点はまだまだ積極的にできなかったのも、学べなかった部分があったと思いました。次回はそのことを活かします。(1年)



頑張った人は、こんな顔～。

夜回り 10月5日(水)雨 20:20～21:10

傘を差して、今夜は一人で回る。人手不足の折、訪問相手の少ない区域なので当然といえる。相手への気遣い不要なので気楽でもある。「こんばんは、正平協です。炊き出しの案内です。」国際センターの裏ベンチはめずらしく二人でおやすみだった。それぞれのベンチでビニールをすっぽり被って傘をわきに立てかけて寝ていた。用意してきたセット品が足りない。表側のベンチをのぞいたら、人影なし。車に戻ってカップめん・おむすびパック・ゆで卵・煮栗・炊き出し案内の追加セット品をつくって、裏へ届けに戻った。「こんばんは、追加です。おやすみなさい。」ぬれたベンチ。二人の人が身動きせずに寝ていた。

西公園陸橋下ハウスのOさん。今は住まいの痕跡もない。すっかり片付けられた。月に一度、こんばんは一と言うと、間を置いてニヤツとしながらビニールのドアから出てくるその顔ももはやない。やっぱりさみしいとどこかで思っているが、今夜のような肌寒い晩に「Srホーム」で温まっているのなら、公園にいるよりもよっぽどいい、と自分に言い聞かせた。

大橋下のKuさんもない。あの人も会ういつもひょうひょうとしていた。自分の「宝の(ゴミ)山」を追い払われてからの現在、人から聞いた東北大北門そばという今の居場所を一瞬思ったが、仙台生活16年で不精から未だ地図不案内で尚かつ方向音痴の自分は、迷って終わりというのが予測つく故寄ってみるなどやめた。

公園大木下ベンチのStおじいさんも行ってみると不在で空振りだった。見ると石と思っていたベンチは石ではなくて、荷物の上に板が置かれていた。下にはカセットコンロに鍋類がコンパクトにしまっている。雨なのでどこかへ避難したかと思われた。ベンチは大木に包まれているので今夜程度の雨なら濡れることもない。その大木を見上げて立派だなあと改めて感心したり、電灯の灯りでけむる公園内

をしばらくぼんやりと眺めてから帰った。お元気かどうか確かめられないので、心にぽっかり穴が空いたままになる。さみしい感じが残った。

大橋下のKuさんも陸橋下ハウスのOさんも大木下ベンチのStさんも、人間関係を絶って一人で生きていた。それは、社会生活からリタイアしたと見なされている。しかし、本人たちに悲壮感はない。いわば現代における「原始の生活」を楽しんでいるかのように見える。3, 11の震災が来た時刻にちょうどティータイムだったOさんは、それが邪魔されたのを悔しがっていた。Kuさんを訪れると、ゴミの宝の山の中でいつも楽しんで見えた。Stおじいさんは、カセットポンベのことをしきりと気にしながら、いつもニコニコしていた。

それらを見ると、リタイアされたのはむしろ世間・社会の方で、本人たちは「人間原初の自由で自然の生活」に戻って悠々と生きているという気がしなくもない。当たり前のように毎日を人間関係の中でもがきながら生きている私たちが、むしろ不自由な人間にも見える。ふり返る。人間らしさとは何だろう。ふっと思うことがある。人としての幸せとはなんだろう。人間らしいとは、窮屈で不自由なことだろう。幸せは不自由なことだ。さすれば、夜回りで出会う人たちの自由は、解き放たれたさみしく孤独な自由にちがいない。自分はずっと孤独な死にこだわり、追いかけてきた気がする。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信 vol54

2011,11月

炊きだし 11月8日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。 12:00 炊き出し



セット品です。サイズはL?M?



よろしかったら石鹸とって下さい。

○ いつも来ているホームレスの方々やはじめて見る方もいましたが、私たちの活動をみなさんが喜んでくれたので良かったです。次の時はもっと積極的になってがんばりたいです。(1年)



このサイズどうですか?



さあ、いらっしゃいませ。

○ スタッフの人で休みの方もいたので、とても大変でした。でもその分やりがいがあったので、よかったと思います。(1年)

○ 2回目だったので、最初より協力できたと思いました。前よりホームレスの人が多いなあと感じました。だんだん寒くなってきたので、冬服が多かったです。(1年)

○前回よりも物が多く、すごく時間がかかったし大変でした。っでも、すごくやりがいがあったのでよかったです。一番嬉しかったのは、指導して下さる大人の人たちが大事なことを私達にまかせてくれたことです。次回は、もっと素早く動く。(1年)



頑張った人は、こんな顔～。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信 vol55

2011,12月

炊きだし 12月11日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し



ハイ、おむすびですね。



今さし上げま〜す。

○ 夏の時よりも大変でした。服の量がものすごく多くて、種類やサイズに分けたりするのに時間がかかってしまいましたが、3人で協力できたのでよかったです。次回も頑張りたいです。(1年)



はい、こちらです。



このサイズはどうですか？

○ 冬で寒かったけれど、豚汁がとってもおいしかった。夏よりもホームレスの方の人数が多くなってきた気がした。どうにか人数が減ればよいと思った。(1年)



頑張った人は、こんな顔～。

献金 高校の卒業生の方から修道院を通じてあずかりました。茨城在住の方なのでWさんに渡し、直接受領証・礼状を送付してもらうことにしました。今回で何回目の献金だろうか？かなりの回数になります。こうゆう方のためにも、忙しさを理由にブログでの報告を怠ってはなりません。すみません。

夜回り 12月9日(水)19:45～

夜回り品づくりに追われている最中のところへ行った。以前に本学院小学校の保護者の方からいただいた3Lダンボール入りの韓国のりが今夜のおむすびでは大量に贅沢に二枚使用されていました。これはうまいにちがいない。スタッフの人員が少なくて、しかもたしかに、ロウジン会かもしれない。(そのなかに足を突っ込みそうな自分も含めて)

出発 人員のこともあり、一人。

国際センターへ。西公園の陸橋前を通過する時、ふとOさん元気かなと考えていた。13年かな？陸橋下ビニールハウス暮らし。ご苦労様。さかんに抵抗していた支援センター入りも、腹痛が治まらない入院の果てならやむなし。やっぱりここよりはいいでしょう。そう考えながら、サミシイと思っている自分を説得させていた。センターの裏ベンチはめずらしく人気がなかった。空振り感のまま車に戻って発車してから気づく。表ベンチを忘れていた。どうかしている。西公園へ向かう途中で戻った。ベンチ前には自転車を停めて一人おやすみだった。コンバンワ、お寒いですね。求めに応じて、みそスープを2杯つくった。「ありがとうございます」生徒が炊き出しへの参加感想によく書くことば「ありがとうといわれた時にとても嬉しかった」—その通りにことばが胸にストーンときた。車に戻る。また忘れ物に気づいた。今日は本当にいけない。カップ麺と

炊き出し案内チラシをもってまた引き返した。

西公園大木下ベンチのHSさん不在。ベンチの荷物はそのままだった。セット品をおいてくる。すぐ横の広場は季節柄電飾でおとぎの国のようにになっている。行き交うカップルや家族連れ。これじゃ頑張っても寝られないだろう。あるいは追い出されたか、遠慮したか。今度昼間に寄って、いたら、聞いてみよう。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信

vol56

2012, 1月

炊きだし 1月14日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

公園に44人の方が集まりました。参加した7人の1年生は皆もう回数を重ねているので、何をしたらよいのか分からずにボーッと立っていることも(たぶん)なくなりました。炊き出しの最中、わめき声が響きました。一人アルコールが入っていたようです。炊き出し参加の時は禁止でしたが。正平教のお母さんスタッフがなだめすかしました。参加した生徒たちは、見て学習したと思います。

今回のボランティアに参加した教会の年配のご婦人から、次のように言われてドキッとしました。「高校生のお嬢さんたち、すごいわねえ。えらいわよねえ。よくこの活動に参加するわよねえ。というか、お母さんがえらいんだと思うわあ」準備が終わって公園への移動途中の車の助手席での話しでした。何をおっしゃろうとするのか初めはよく分かりませんでした。「と言うのはね、私の母がそうだったのよ。よいことであつたも、できたら触れさせたくない活動っていうか、そういう意識が母にあったので。だから生徒さんのお母さん方、えらいと思うわあ」やっと意味が分かったのです。高校生になった自分の娘をホームレスの炊き出しボランティア活動に出す。列を作っているホームレスの方たちに声をかけセット品を配り豚汁を手渡し、衣類提供の時には声をかけまた話しかけられる。自分が母ならそれがさせられるか。恥ずかしことですが、わたしは長いことそのことに鈍感になっていました。炊き出しボランティア活動は、学校の了解はもちろんですが、生徒の家庭の理解と協力がなければ到底できない活動です。活動場所までの交通費も自己負担です。

『準備の後、用意したものを持って車で五橋公園へ移動する。現地ではボランティアのご婦人方の指導を受けながら、ホームレスの方たちに豚汁やおむすびをさし上げたり衣類を渡したりするのが主な仕事です。ホームレスの方たちと会話でふれあうことが一番の目的ではないので、それができなくとも悩む必要はありません。炊き出しの活動に実際に参加して、社会のありさまや人の様子に直接ふれ、そこから感じとることを大事にして下さい。』

(「炊き出しボランティア参加生徒心得」より)

今更ながら、これまでどおりご家庭の協力を仰ぎながらこの活動を継続してゆきたいと思っています。反省会でも、この話をしたところ早速生徒へ質問が向けられました。「みんなのお母さんはなんて言ってるの？」すると、「どんどん行きなさい、って言ってます」笑いが響きました。この、保護者からのありがたい後押しをけっして忘れることなく大切に進めてゆきます。ありがとうございます。



寒い中、ハイ、豚汁どうぞ。



今用意しますね。

○顔に覚えのある人が多くて、元気そうな顔を見れて安心しました。おにぎりを今回初めてつくりましたが、心を込めてつくることができました。おいしそうに食べてくれて嬉しかったです。(1年)



どうぞいらっしやいませー。



マジ、サムイです。

○今回はエプロンを忘れてしまっただ担当の方に迷惑かけてしまいました。何回もやっているのに恥ずかしいことです。持ち物をしっかり確認したいと思います。(1年)



残りわずかとなりました。

○女の人が私たちのことを覚えてくれてうれしかったです。おにぎりづくりが大変でした。次また頑張ります。(1年)



頑張った人は、こんな顔～。

献品 小学校からたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 1月11日(水)20:10～氷点下の夜。

この夜は仙台市の委託でホームレス概数調査というのが夜回りに合わせて行われた。通常とは違うコースも回りながらその人数を記録してゆく。時々一緒になるTbさんとAzさんという3. 11後夜回りや炊き出しに参加したというご婦人の3人グループとなった。

まず追廻。道が無理なので今回も案内人のおじさんと呼んでもらった。おじさんは今回も1回道をまちがえた。てれていた。そこに住む人が間違ふのだから、こちらはいっこうに分からない。震災後、テニスコートまでの道のりの住宅がかなりなくなった。広い空き地のようになり、道だけ迷路のように残っている。夜なのでなおのこと分かるはずがなかった。それでも何とか集合場所の小屋根のついたベンチのそばまで到着すると、待ちかねた人たちが車のライトに映し出された。コンバンハ。コンバンハ。と言いながら、9人分の配給品を次々に運ぶ。米・おむすび2個セット・ゆで卵・カセットボンベ・ホッカイロ5個セット。夫婦ぐらしの人もいた。その場でみそスープをたっぷり飲んで行った。車のライトで照らす作業の中、なにか「生きる」が、身に迫ったまじわりに感じられた。

大橋下にKuさんが戻っていた。また少しずつ「宝の山」を増やしていた。「警察は回ってきて、出てけ一って言うんですよ」と言う。Kuさん元気。ちょっと嬉しかった。評定河原橋の下には二人分をいつもおいてくる。西公園の身障者用トイレをコンコンすると、中から「ハイ」と返ってきた。「入り用な物はありますか？」Tbさんが尋ねると、「大丈夫です。」「ではお気を付けて」

大木下ベンチのHSさんは12月の暮れに留置所に入ったまま出てこない。無銭飲食による。「寒いところにいるよりもと思って、自分から入りに行った様子があるようだ」その話をHさんから聞いた時、ことばが出なかった。実際にベンチに行ってみると、荷物もなかった。

炊き出しに並ぶ人は、自殺せずに生きることを選んだ人。Hさんたちから何度か聞かされた話である。そこに集まる人のかたまりも嫌がって来ずにもがく人は、ついに病院に運ばれるか、こらえきれずに『公的機関』のお世話になるか。 セツナイ。

文責 高橋 覚

炊き出しボランティア通信

vol57

2012, 2月

炊きだし 2月11日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

一緒に参加しながら生徒取材もする顧問は今回風邪でダウンでした。そこで W さんをお願いしておいて、二人だけで行かせましたが、他にちょうど二人きていた S 学園の生徒と協力して仕事を行ったそうです。

3年生は3月1日卒業式で、引退です。3年生が3年間活動してきたことを振り返ってみた文章が日本カトリック小中高連盟発行の『よき家庭』という全国誌に掲載されました。紹介します。

「ボランティア活動で得たこと」

私がボランティア同好会に入部した理由は、ボランティアをしたいからではなかった。友人に誘われたことがきっかけで、私自身はボランティアに興味はなかった。

三年間のボランティアでは、初めて参加をしたホームレスの方への炊き出しが一番印象に残っている。私はホームレスの方に汚い、怖いと近寄りづらい偏見を持っていた。そして、ボランティアという初めての体験に何をしたらよいのかわからなく、戸惑うことが多かった。しかし、回を重ねるごとに他のボランティアの方々、ホームレスの方々と接していく中で、前まで持っていた偏見もなくなりだんだん仕事も出来るようになった。そして、ボランティアをする上で自分から仕事を聞き、積極的に仕事することは、社会に出る私にとって、大切なことだと実感した。

昨年の夏に仙台で行われた障害者共同連大会のボランティアでは、手伝いの人にも幅広い年代の方がいて、とても良い出会いと発見があった。来賓の方の案内をする仕事をし、私がお連れした方に「ありがとう。」と言われた一言でとても嬉しくなった。参加者にも障害をもっている方が多数いた。そして、障害をもつ人への接し方の難しさ、これからどう接していけば良いのかを考えさせられた。

三月十一日の地震を体験し、被災地として傷が癒えない中、私たちは復興のため役立ちたいと募金活動を行った。小さい子供からお年寄りまで様々な思いがあり、一円でも五円でも募金をしていただき、人の温かさ、そしてこの未曾有の大地震について、一人一人特別な思いで寄付していただいたのだと感じた。募金活動をする側、寄付する側が一日でも早く復興してほしいという思いが一致する募金活動だった。この震災の悲惨さとこれからかかる大きな復興作業を改めて実感し、心が痛んだ。

復興はまだまだ大変で、辛いことの方が多い。今自分にできることはなにかをボランティア活動を通して学ぶこと、考え実行することのできた三年間だった。

(3年)



○今回初めて炊き出しボランティアに参加してみて、不安だったけど、教会の人たちやまわりの人たちと協力しておにぎりなどを作ることができました。ホームレスの方にもよろこんでもらえたので良かったです。(1年)



○炊き出しの準備を手伝ってくれたホームレスの人たちがいて、とてもうれしかった。とても大変だったが、いい経験になったし、楽しかった。今度の時は暖かい服装で行くことを忘れないようにしたい。(1年)



寒い中 頑張りました。(顧問はお休み)

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 2月8日(水)20:15～21:00

Skさんという男性と一緒に。この方とは3回目ぐらいか。薬剤師。20年勤めた薬局を辞めた。夜回りでは、野宿の方との出会いもあるが、それぞれ一風変わった人生を背負ったボランティアとの出会いもある。彼は勤務していた医局の不正(違法)に我慢できなかったと言う。一人暮らし。「お仕事は？生活は？」「そろそろ探さないと、とは思いますが。貯金切り崩して暮らしています。」

国際センター。表ベンチの方にみそスープを作ってさし上げた。大橋下のKuさんは元気な笑顔だった。ヨロシイ。西公園を過ぎた。Stさんはわざとだったか？追いつめられたか？

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信 vol58

2012, 3月

炊きだし 3月10日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

雪から雨。お出でになった方37名。女性0。会長「炊き出しに先立って皆で3.11のお祈りを一緒にできてよかった。仙台市には今のところ50人ほどのホームレスがおり、その7～8割は県外からの方。全体の数が減った理由についてはまだ分かっていない。」ということでした。



○炊き出しボランティアに参加するのは今回で2回目だったんですが、やっぱり2回目ということもあり、何をしたらよいのかを考えて行動することができたので良かったです。ボランティアは私たちの他にもS学園高校の人たちや大学生の人などたくさんいて楽しくできました。次回もこの調子で頑張りたいです。(1年)



○今回が初めての炊き出しボランティア参加でしたが、みんなと協力しながら楽しく活動できたのでよかったと思います。反省点は、もう少し積極的に働けばよかったなと思いました。次回はそうしたいと思います。（1年）



献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 3月7日(水)20:15～21:15

会議が18時半まで。急ぎ帰宅して軽食とり、短時間の仮眠後、出かける。いつも準備が終わっていて申し訳ないと思いながらも、仕事から直でいくと心身がもたないこと経験済みなので、正平教の人たちに甘えさせて頂いている。従って出向くとすぐに出発。今夜は一人。相方に気兼ね不要のマイペース。

国際センター裏ベンチ。周囲は溶けているのにここだけ一面雪が敷き詰めた絨毯のよう。さむい。コ

ンバンワー。セット品をおいて行きまーす。お気を付けて。ビニールシートを体に巻き付けてその上からひもでまいている。まるで『人間荷物』の梱包のよう。靴はきちんと並べてあった。

センター表の公園ベンチも、前が一面雪で覆われていた。自転車がとめてある。声をかけるとおじさんがむっくり起きあがった。みそスープを1杯つくり、1杯は手渡し、1杯はベンチに。「熱いですからね」

大橋下のKuさん。「復活」後もいわば順調にお宝の荷物が増殖していた。お巡りさんも大変だろうと、少し同情した。とりあえずは元気が何より。ただ残念なことに、本人不在だった。寝袋が生きものののように荷物の上を占めている。それに向かってしつこく呼びかけたが、中が空なのがわかったので、セット品を置いて引き返した。

帰りに西公園を通る。空になった陸橋下を見ると、それが当たり前に思えて、よかったとも思った。

前に寄った障害者トイレが気がかりになって、車を止めた。コンコンとすると、すぐにハイ、と返ってきた。だいじょうぶですか？—ハイ。入り用なものはありませんか？……。お気を付けて。—ハイ。戸は開かない。真っ暗な中で、ジッとしているのが想像された。また寄ってみよう。

文責 高橋 寛

萌友炊きだし 3月17日(土) 10:00 福祉プラザ9階調理室に集合・準備。12:00 炊き出し

雨。37名。女性0。Hさんが理事長をしているNPO法人萌友からボランティア参加の要請あって、2名だけになったが急きょ参加した。9階で準備し、10階のホールで食事会をする。先週の五橋公園炊き出しでは雨のために衣類提供ができなかったのを、この日にホールの中でおこなった。外は雨だったが、ここだと濡れる心配はない。東京からビックイシュー日本編集局員二名がやってきていて、さかんに取材をしていたが、10階ホールでの写真撮影は控えていた。外の開放感の中とは違って、中での食事のところはさすがに遠慮して撮らないようだった。料理の達人Hさんの本日メインデッシュは、通称ごった煮だそうで仙台の郷土料理ということだった。おいしかった。



うまくできていると思いま〜す



頑張った人

- 今回の急に入ったボランティアだったけど、スタッフの人たちにやさしく分かりやすく教えてもらったので、なんの問題もなくやりとげることができました。次はもっとテキパキとできるようにします。(1年)
- 今日は二人だけだったから、いろいろと大変でした。でもいつもよりよかったです。それに中でやったのでハトにびびんないでできました。次回はもっと手伝いができるようにしたいです。(1年)



終了後。福祉プラザのショウコ写真ですよ。

炊き出しボランティア通信 vol59

2012, 4 月

炊きだし 4月14日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

雨の予報でしたが降らず。お出でになった方43名。女性0。ホームレス人数減は全国的な傾向。1万人切った。原因不明とのこと。(テレビ報道の通り生活保護受給者増のため? 貧困ビジネス? 増?) 公園のホームレスご自身の解説によると、来月あたりから10人ぐらい増えるのではないかとのこと。……同好会から5人参加しました。



「豚汁はこんな具合でしょうか。Hさんいいですか？」



お配りするセット品です。心を込めて入れてゆきます。

○今年度最初の活動だったので、前年度の反省を活かして頑張りました。今回はいつもよりホームレスの方の数が少なかったのですが、ホームレスを抜けられたのかな、それならいいなと思いました。(1年)



「セット品です、どうぞ。サイズはMですか？Lですか？」



「ちょっとお待ち下さい。」

○前回より作業がスムーズにできました。2回目ということもあり、指示を待っているのではなく、自分から行動することができたと思います。次回はもう少し手伝えるようにします。(1年)



「豚汁に七味をどうぞ。」

○私にとって同好会での炊き出しボランティア参加は初回でした。おにぎりづくり、後片づけなど、他のボランティアの方々やホームレスの皆さんのお役に立てられたと思うので、良かったです。



「すみません。靴をお渡しする前に、これへ、お名前とおやすみしている場所を書いて下さい。」



「どれにしますか？」



2年生になって最初に頑張った皆さんです。

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 4月11日(水)20:00～21:10

19時過ぎに行く。準備が終わりスタッフ皆でご飯の時おいしいお惣菜をいただいた。今夜も一人のマイペース。春の陽気を感じる晩。

国際センター裏ベンチ。寝息でビニールシートが揺れていた。

センター表の公園ベンチ。「みそスープを2杯置いてゆきますね。」と声をかけた。「はい、すいませんね。」という声が耳に残った。そして染みる。男性は白髪で毛むくじゃらだった。「おじさん、昼はどこに？」「メディアテーク」

大橋下のKuさん。呼ぶと、ゴミ山の向こうから、驚いてむっくり。「(ゴミ)たまりましたね。」「いやあ、持って来ても、いいもの持って行かれるから。」「マンガ？一番金になる？」「いいや骨董」「えっ骨董？」「ええ骨董」「へえ骨董？」「そう骨董」そんな半ば馬鹿なやりとりをして。「警察は？」「最近来ないねえ。Srホームの職員の人が退職で辞めるので、この間挨拶に来た。」「へえ、Kuさん、すごいですねえ。」

西公園。ライトがいたるところ眩しい。つい最近までこんなではなかった。おかしい。ホームレスはまず居つかないだろう。障害者トイレをいちおうノックする。返事がない。おむすび類も置かない。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信 vol60

2012, 5月

炊きだし 5月12日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

晴、好天。お出でになった方52名。同好会からのボランティアは新人の1年生5名と2年生3名参加しました。仙台S学園高校3年生も2人参加し、はじめてと言いつつ落ち着いた様子の取り組みをしていました。本校からはじめて参加の1年生も熱心な参加ぶりでした。バラエティにとんだおむすびの形はそれまで見たことがないほどでした。聞いたら人生ではじめておむすびを握ったというのが何人もいました。得がたい経験となりました。



「おむすびはこんな感じかな？」「うーん、そんなもんかな。」



「これでいいですかねえ？」



「どれどれ先輩が見ましょう。」

○私ははじめてのボランティア活動だったので、わからない事ばかりでした。その中でも自分ではテキパキとできたと思います。反省点は、はじめてということで、自分で考えて行動することができなかったことです。次回は今回の反省点を生かせるようにしたいです。(1年)

○初めてで大変だったけど、ちゃんとやることができたから良かったです。次回はもっとよくできるようにがんばりたいです。(1年)



「いらっしやいませ。」



「ちょっと緊張するわね。」



「どれどれ、お任せを……」



「私たちはオッケーよ。」

○今回の初めての参加によって、ホームレスの方たちへの偏見がなくなりました。たくさん声をかけていただいたのですが、私の方からはあまり声をかけることができなかったので、次回頑張ります。(1年)

○私にとって同好会での炊き出しボランティア参加は初回でした。おにぎりづくり、後片づけなど、他のボランティアの方々やホームレスの皆さんのお役に立てられたと思うので、良かったです。(1年)

○初めてのことばかりで素早く動くことができなかったと思います。ホームレスの皆さんは自分が思っていたより明るく、気軽に話しかけてくださったので、嬉しかったです。大きな失敗もなく炊き出しできたのでよかったと思います。今回は仕事をすることで精一杯だったのですが、次回は笑顔で接することができるように頑張りたいです。(1年)



ちょっとベテランと、新人でした。

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。高校職員からもいただきました。
ありがとうございました。

夜回り 5月9日(水)20:35～21:40

会議が長引き、いったん帰宅の暇なし。向かう途中のコンビニでパンをかじって行った。

国際センター裏ベンチ。いつもの方がやすんでいた。1年通っていて顔を見たこともない。Hさんの話では、まだ若い30代の人。家はあるが大借金をしたため家族から返済終わるまで帰ってくるな、と追い出され、もうすぐそれが終わるとのこと。話が本当ならば、それがいい。もうすぐ梅雨が来る。それにしても、この周辺の明るさに不審感をもった。西公園もそうだ。いつも半分以上真っ暗な中を電灯頼りに歩いていたのに、やけに明るい。ライトが増えた。世間は節電で騒いでいるのに、逆行している気もした。何かあるのだろうが、分からない。

センター表の公園ベンチ。「おじさんどこからでしたか？」と声をかけた。「…岩手」岩手のどこ？ 自分も岩手の出ですよ、と言いそうになって堪えた。聴かれたくないこともある。かわりに、味噌スープをさし上げながらまじまじと顔をながめた。私の郷里にいる顔だった。「おじさん内陸でしょ？」「ハイ」これだけ言った。

大橋下は長靴のいる季節に入った。草丈が伸び、カエルの声が響きわたる。ヘビが出てもおかしくな

い。「Kuさん。」呼ぶと、ゴミ山の向こうで帽子がゆらめいた。タバコの火が赤く燃えている。何か言いながら近づいてきた。よく聞き取れない。「いやあセンセ、そんないいですから。いつもお世話様ですセンセ」何を話しても要領を得ない。味噌スープ？ いらない。おむすび、卵？ 他の人にやってくれ。なぜ。――要するに、Kuさんは酔っぱらっていた。「ありがとうございました。」ぺこんとお辞儀していた。早々に切り上げた。

西公園。ライトが煌々としているベンチに見かけない人が寝ていた。「こんばんは、夜回りです。味噌スープいかがですか？」中年の男性顔を上げて、しばらくじっと見つめられた。間。「いりません。」信頼をとれなかった。――話しかけたとき、自分はどんな顔をしていたんだろう？ 疲れた顔か？――悔しい。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会（代表W）がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、ご一緒にいたします。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信 vol6 1

2012, 6 月

炊きだし 6月9日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

雨。お出でになった方42名。同好会からのボランティアは新人の1年生3名と2年生3名参加しました。衣類提供は来週の萌友食事会ですることになりました。公園の中はシートを敷ける状態ではありませんでした。まずテントを組み立てて、並ぶ場所や食べる場所づくりをしました。集まった常連のおじさんたちは、職歴を活かして(?)手早く器用に手伝ってくれました。炊き出し参加がはじめての1年生たちはには、ビニールシートでの売り子など十分な経験がさせられなくて気の毒でしたが、風雨や雪の中の炊き出しなども、経験です。それにまた次の参加の機会があります。



お菓子詰めです



手馴れたおむすびです?



「全てベチョベチョ」



「先輩、今日って大変ですねえ」

○2回目で仕事がスムーズにできました。私は1年生とやっていたのですが、1年生がちゃんとやっていて良かったです。人数は少なかったですが、それぞれ頑張っていたと思います。

次回は天気がいいといい!! 皆参加できるといい!! (2年)

○朝から雨が降っていたけれど、教会で豚汁具材を切ったりおにぎりつくったりとかたくさん手伝えたので良かったです。1年生とは初めての炊き出しでしたが、協力してやれました。(2年)

○久々の炊き出しボランティアで少し緊張しました。雨の中で大変だったのですが、教会の中でやっていけばよかったなど、改善していった方がよいと思うことがあったので、自分の意見も言ってゆけたらと思いました。(2年)

○今回は初めての炊き出しボランティアだったので、最初は何をするべきなのか全く分かりませんでしたが、先生や先輩たちにいろいろなことを教えてもらいながらテキパキ動くことができました。今日できなかったことを次回しっかり活動したいです。(1年)



ああー、大変だった…。

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 6月6日(水)20:20~21:10

今月も会議が長引き、いったん帰宅の暇なし。学校でカップ麺とレトルトご飯を食べて行った。

(以下は、Vol.60と同じ内容。ファイル整理の際に混雑したか。一編輯者)

国際センター裏ベンチ。いつもの方がやすんでいた。1年通っていて顔を見たこともない。Hさんの話では、まだ若い30代の人。家はあるが大借金をしたため家族から返済終わるまで帰ってくるな、と追い出され、もうすぐそれが終わるとのこと。話が本当ならば、それがいい。もうすぐ梅雨が来る。それにしても、この周辺の明るさに不審感をもった。西公園もそうだ。いつも半分以上真っ暗な中を電灯頼りに歩いていたのに、やけに明るい。ライトが増えた。世間は節電で騒いでいるのに、逆行している気もした。何かあるのだろうが、分からない。

センター表の公園ベンチ。「おじさんどこからでしたか？」と声をかけた。「…岩手」岩手のどこ？ 自分も岩手の出ですよ、と言いそうになって堪えた。聴かれたくないこともある。かわりに、味噌スープをさし上げながらまじまじと顔をながめた。私の郷里にいる顔だった。「おじさん内陸でしょ？」「ハイ」これだけ言った。

大橋下は長靴のいる季節に入った。草丈が伸び、カエルの声が響きわたる。ヘビが出てもおかしくない。「Kuさん。」呼ぶと、ゴミ山の向こうで帽子がゆらめいた。タバコの火が赤く燃えている。何か言いながら近づいてきた。よく聞き取れない。「いやあセンセ、そんないいですから。いつもお世話様ですセンセ」何を話しても要領を得ない。味噌スープ？ いらない。おむすび、卵？ 他の人にやってくれ。なぜ。――要するに、Kuさんは酔っぱらっていた。「ありがとうございました。」ぺこんとお辞儀していた。早々に切り上げた。

西公園。ライトが煌々としているベンチに見かけない人が寝ていた。「こんばんは、夜回りです。味噌スープいかがですか？」中年の男性顔を上げて、しばらくじっと見つめられた。間。「いりません。」信頼をとれなかった。――話しかけたとき、自分はどんな顔をしていたんだろう？ 疲れた顔か？――悔しい。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会（代表W）がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。

文責 高橋 覚

炊き出しボランティア通信 vol62

2012, 7月

炊きだし 7月14日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

雨が我慢してくれた日。46名の参加者数。「若い人たちがいなくなった。常連さんに戻った。若い人はやっぱり就活力があるのかなあ。復興支援の建設現場？」ボランティアスタッフの感想に出た言葉でした。衣類提供の最中に、Wさんから呼ばれて行ってみると、夜回りの時以前国際センター表公園ベンチにいた、岩手の気の弱そうなおじいさんでした。その場所は住人が変わっていました。(おそらく追い出された) ご本人は今神社のある側の西公園ベンチで寝ているということでした。「おじさん、戻ったらいいですよ。この間センター前のベンチに行ったら誰もいませんでしたよ。」と勧めました。同好会からは2年生3名参加しました。仙台S学園高校3年生も3人参加しました。



「セット品がLとM、どちらですか？」



「リボンですが、やや緊張してます。」



「これでいいですかねえ？」



「ついボーッとしてしまいます。」



「うーん、これですねえ。」

○今日は私のチームから二人、そして参加してみたいというクラスの子を入れても3人の参加でした。一時はどうなるのかと心配でしたが、S学園の人たちもいてボランティアの方が多くて良かったです。行動も早くできて良かったです。(2年)

○今回は調理だけでなく、ホームレスの方に配る歯ブラシや靴下などを一つずつ袋詰めする作業も経験できて良かったです。次回の炊き出しでも、ただ待っているだけでなく、自分からもっと積極的に声をかけて、たくさんお手伝いができればいいなと思います。(2年)

○炊き出しボランティアをやってみてすごくいい経験ができました。これからそれをいろいろな活動に活かしてゆきたいです。(2年)



明るいホンワカ3人衆

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。

夜回り 7月11(水)20:00～21:25

国際センター裏ベンチ。いつも通り。 センター表の公園ベンチ。空。先月の気の荒いおじさんも、そ

の前の気の弱いおじさんも、誰もいなかった。

大橋下のKuさん。元気。最近食べ物ない、とのこと。おにぎり、ゆで卵、カップ麺、みそスープ2杯さし上げた。荷物がまた一段と整理されて、あちこちに貼り紙もあった。「花火大会が近くなるとすぐこうされる。たった一日のために。ここは花火見る一番いい場所。トイレもいっぱい立ち並ぶ。おれも追い出される。」さみしそうに言う。「今日はKuさん、会話が成立するねえ。このあいだ、募金中に街中で会った時はひどかったでしょう？覚えてる？」と聞いた。「うんうん。若い時は一日一升飲んでもケロッとしてたが、今は食いもんねえから、一口飲んでもすぐ酔っぱらうからなあ。」と、しみじみ語るのであったKuさん。「でも、ここでないとKuさんに会えないから、追い出されてもまた戻ってきてね。」

西公園を通過して帰る途中、思い出した場所あり、引き返して元Oさんの陸橋下ハウスのあった場所に車を止め、そのそばの大きい石碑の裏に向かった。昼間見た時、人が寝起きしている様子があったところだった。近づいて「こんばんは一、夜回りです」と言うと、人がムックと起きあがった。HSさんだった。見ると、にこにこしている。「心配していました。どこにいたんですか？」「遠いところ」と言ってやっぱりにこにこしている。「ふーん。今みそスープやおむすび持ってきますね」小走りに車へ戻りながら、気持ちがウキウキしているのが自分でも分かる。遠い所って、Hさんから聞いて知っている限り牢屋だった。無銭飲食で、長かった。「HSさん、昼間はどこに？」「メディアテーク」「炊き出しは？」「行かない。

KuさんとHSさん。親しい二人の命に再会した晩だった。

Hさんから聞いたOさんのこと。お姉さんがそばに引き取って暮らしているとのことだった。これも、それが一番と思った。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会（代表W）がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、ご一緒にいたします。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信

vol63

長らく通信を発行せずにおりましたので、まとめて報告いたします。8月～11月です。

2012, 8月

炊きだし 8月11日(土) 9:00 北仙台教会に集合・準備。12:00 炊き出し

夏休み中の暑い暑い日です。参加当番に変更あり。当初当てていた3年生は、受験勝負の夏ということにより不参加。1～2年生4人ででした。



「人生初のジャガイモ皮むきです。」



「その包丁遣い、見てる方が緊張しますね。」



「冷たい飲み物です。」



「靴屋のカンバンむすめです。」



「寝ている場所とか書いてください。」



「よくかせえだぜ。」

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。

2012, 9月

炊きだし 9月8日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

並ばれた方40人。まだまだ暑い日の一日です。今回は2年生4人参加しました。S学園の熱心な生徒さんともこの日は一緒でした。高校生ボランティア8人の力結集です。それは頼もしい。この日はまた、炊き出しに先立って、路上で亡くなった人を「偲ぶ会」がありました。徳照寺のKS住職が今年もお出でになって追悼の祈りをさせていただきました。生徒たちも一緒になって全員焼香しました。



まだ熱い。でも慣れてきました。



採寸です。だいぶ慣れました。



たくさんの参列者がいました。



心を込めてご冥福を祈ります。



「さあ、いらっしゃいませ。」



「冷たいものをどうぞ。」



頑張った高校生は、はいポーズ。

- 他校の人も一緒だったので、いつもより少し気を遣いましたが、どの方も人当たりのよさそうな人たちだったのであまり心配せずに、ホームレスの方々への炊き出しを無事終わられたので良かったです。今後も、他のボランティアの方とうまく協力して活動してゆきたいです。(2年)
- 臨時でボランティアをやったのですが、学ぶことがあった一日でした。偲ぶ会は2回目だったのですが、今回感じたことは、亡くなられた方々が見守っているんだなということでした。次回も頑張りたいです。

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。

2012, 10月

炊きだし 10月13日(土)晴れ。9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 炊き出し

並ばれた方43人。最近女性の姿が見あたりません。多いときは3～4人並んでいたのですが。気になりました。ただ、一人分はセット品持ち帰りがありました。この日は2年生3人参加しました。スタートするとよく働く皆さんです。



テキパキ。口の動きも。



班長は全体計画係を仰せつかり、頭抱え。



ただ今はおむすびムスメ気分中。



ハイ、気をつけてください。



「ビタミン剤です。順番に取ってってね。」



「うーん」それいいか、一緒に考えます。



「これもどうぞ。」



Hさん、お世話かけました。



そろいぶみ。いい顔。

献品 小学校から一俵のお米をはじめ山のような献品を預かりました。

2012, 11月

炊きだし 11月10日(土)晴れ。9:00 北仙台教会に集合・準備。12:00 炊き出し

並ばれた方49人。女性ゼロ。この日は2年生2人の参加になりました。回数の多くない活動を大事にはさせているのですが、模試など他の学校行事と重なったり、東日本大震災遺児支援街頭募金活動も一方では行っているので、全員がなかなかそろわないのもやむなしです。この日はSy大学の学生6名が一緒に、心強い働き手でした。



大学生と協力してつくってます。



配ってます。 数を記録してます。



じっとしてます。次々に持って行きます。



終了の笑顔。

夜回り

9月5（水）20:00～21:35

Hさん不在。Wさんから二ヶ所分担当依頼の電話あり。

会議長引き、7時過ぎに元寺へ直行。皆と一緒にのタげ。シーフードカレーに自家製お惣菜。

①追廻。国際センターと道を挟んだところへ案内人に来てもらう。自転車の後ろに車について行く。

目の前に5人ほどあらわれた。ライトを照らしたまま8人分の配布品を置いてゆく。

②国際センター裏ベンチ不在。めずらしい。センター表の公園ベンチ不在。何かあったかも。

③大橋下。鉄線が張りめぐらされていた。ショック。市の仕事。Kuさんはどこへ？居場所を変更したにちがいない。

④西公園大石碑裏のHSさんは元気。あごひげボサボサだった。

10月11（水）20:20～21:20 小雨模様。

陸橋下ハウスのOさんはもういないし、大橋下の住まいには鉄条網が張られて、追い出されたKuさんは消息不明。WさんもHさんも分からないと言うから、ほんとに不明。西公園の陸橋下は10数年暮らした住人がいなくなり、普通の陸橋になっていた。さみしいと思うのではない。身体をこわしたOさんは救急車で運ばれて入院し、その後姉なる人のそばで暮らしているという。一番幸せな「社会復帰」かもしれない。

雨上がりの晩、西公園大きな石碑の後。声を掛けるとビニールシートからモゾモゾ手が出て、先月よりもさらにいっそうひげもじゃのHSさんが現れて、自分の心がほんとに嬉しがっているのが分かる。残り

ポットのみそスープをどうやってやろうか。入れ物がない。思い立って100円コンビニへ。タッパーと瓶を買う。(そのすぐわきのラーメン屋。21時を過ぎているのに店の外に行列があった。——今度ここで食べてみよう。)正平協のご婦人さん方が用意してくれたポットのスープを全部入れて渡した。(ああほっとした。)'おじさん食べれてる?'「いや」「昼間はメディアテークでしょ?」「ハイ」「おじさんトシいくつ?」「62歳」「どこか入ろうか。」「いや入らない。ひどい目にあったから行かない。」

このHSさんに、自分は何ができるだろう?

15年以上も前に、HSさんと同じ当時62歳だったSさんに仙台駅で夜回り中に出会った。それからさまざまな経緯があり、Sさんは吉成のケアハウスに住んで10年以上になる。Sさんはさまざまな幸運に恵まれていた。HSさんは無銭飲食とパン1個盗っては、時々目の前からいなくなる。寒い季節は特にそうなりやすい。もうすぐ寒くなる。

11月7(水) 20:10~22:15 晴れ

Hさん会議のため不在。追廻と評定河原が・メディアテークが加わった。スタッフにTnさん(もと本学院中学生の父)とTbさん(勉強熱心なご婦人)が加わった。

追廻は8人分。道はTbさんがよくご存じ。この界限は震災後次々に家が消え、公園を作るとの話。

国際センター表の公園ベンチ。岩手出身のおじさんが戻っていた。

評定河原に入る。3人分。橋の裏。上の人Mさんに二人分。(いつも一人しか見ない。)下の人Fさんは上手にビニールハウスを立てていた。8月に大阪から来たまだ若い人。積極的に毎日あちこち歩いている。上下では気が合わない。互いに話しかけもしない。——これらはTbさんが聞きだした。

西公園HSさん。ニコニコしていた。

メディアテークも頼まれたので寄った。1階には不在。7階が10時まで人がたくさんいるのを初めて知った。ほとんどは学生で、ゼミの打ち合わせなどに見えた。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表W)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。

文責 高橋 寛

炊き出しボランティア通信 vol 6 4

2012, 12月

炊きだし 12月8日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 五橋公園 炊き出し

朝から雪。のち曇り。昼頃雨。のち晴。夕方からみぞれ。のち雪。こんな忙しい天気の日でした。ボランティア生徒は6人。2年生二人と一年生。一年生は5月の炊き出しから2回目というメンバーが入っていて、その時も雨でした。きょうも雨のために、準備した衣類出しは1週間後へ延期になり、生徒に少しかわいそうなことになりましたが、また次の機会もあります。



「おむすびやまです。」



「新品の冬靴のやまです。」



「寒いわねえ。」



きょうのテーマは笑顔です。

○天候が悪く、衣類の提供ができなくて残念だった。これからもっと寒くなるので、風邪をひかないようにしてほしいと思った。前回の参加からしばらく経っていたが、何度か顔を見たことある人が元気そうで安心した。豚汁をうまくよそえてなくて申し訳なかった。次回はもっと積極的に行動できるようにしたい。(2年)

○炊き出しボランティアで今回初めて調理を担当しました。野菜を切ることは家でもやっていました

が、おにぎりを握るときにはいつもラップを使ったり型を使ったりしているので、素手で握るのは初めてで難しかったです。(1年)



ハイ、こちらも。



頑張ったどー

○ホームレスの方が想像していたよりも多かったことに驚きました。初めての参加でしたが、自分から積極的に行動することができなかったです。次回は積極的になります。(2年)

○はじめて炊き出しに参加して、私はセット品づくりをやってみて、私たちが毎日の生活で普通に使っている歯ブラシや靴下などでも、ホームレスの方たちは必要としていることが分かりました。初めはホームレスの方たちと話すことも緊張していたけど、慣れていったのでよかったです。次回は調理の方をやってみたいと思いました。(1年)

献品： 小学校から今回も大量のお米をはじめたくさんの献品を預かりました。

ありがとうございました。

夜回り 12月5(水)20:40~22:00 晴れ

今年最後の残り葉がしんぼう強く木につかまっている。それでも、外灯の下は真っ黄色な銀杏のじゅうたんで敷きつめられていた。その上を踏みしめる。 国際センターの裏ベンチ。「コンバンワ一夜回りです。おむすび・ホカロン置いてきます。寒いですからお気をつけてー。おやすみなさい。」本人はビニールにくるまっていて、まるごと見えない。その前に地面に大きなスニーカーが行儀よく並べてあるので、中にいるのが分かる。 表の公園ベンチ。岩手のおじさん。みそスープを2杯作り1杯は手渡し、1杯はベンチに置いた。「では今度の土曜日に炊き出しでね。」実際の炊き出しの時には並んでいても誰がどの人だか分からないときも多い。夜と昼とでは顔つきがちがう。

ずっと夜回りにこだわってきた。仙台で学校の教員になり、生徒を炊き出しに連れて行くようになってからは、炊き出しも大事にするようになった。しかし、夜回りにはこだわっている。東京で二十歳の学生だった頃、なにも知らず、ただ夜回りについて行きたくて、日本堤の山谷にあるインド人のブラザー(修道士)のところに泊まり込んで、くっついて歩いて以来である。

国際センターから大橋を渡ることがなくなった。Kuさんがいない。HさんもWさんも知らないのだから、本当に分からない。

西公園。『殉職消防組員招魂碑』とある大きな石碑の裏で暮らすHSさん。「Sさん。」「ハイ」ムックと頭がもちあがった。おむすび・ゆで卵・ホカロン。鍋に残りのみそスープを全部移した。本人は早速おむすびにがっつき、みそスープをすすっている。「寒いですね。」「ハイ」「昼間はメディアテーク?」「ハイ」「夜はこれからますます寒いのでどうしましょう?」にこにこしている。「ここにいます。」「雨、風、吹雪も?」「ハイ」やっぱりにこにこしている。『あんまり寒いからって、あんパンとって、暖かいところにまた入ってきませんよね。』とちょっと言いそうになった。炊き出しに来るのばかりでなく、施設にはいるのも拒否していた。

15年前のむかし、Stさんという62歳のホームレスに仙台駅で出会った。彼の頼みで、一緒に行って年金を調べてもらったら、ホームレス中の2年間で年金を貯蓄していた。しかし住所がないと、振り込んでもらえない。Stさんと私は2年前に住所から出た宮城野区役所へ、住民票が残っていることに一縷の望みをもって、もらいに行った。待っている間緊張がピークにまで達していた。 係の人は、住民票を出してくれた。神さまは、サイトウさんに住民票を用意してくれた。ケアハウスに暮らす年金生活がそれから始まった。

神さまは、HSさんに何を用意してくださっているのだろう。また、Kuさんをどこへお連れしたのだろう。

(追)土曜日の炊き出しの帰りに、セット品とおむすびをもってHSさんを探しにメディアテークに寄った。いつもいる3階にも4階にもそして7階にもいなかった。しかたないから石碑裏の住まいに置いてゆこうと寄ったら、もうビニールシートの中にもぐっておやすみ中だった。午後4時だった。冷たい小雨が降っている。「Sさん、ハイどうぞ。もうおやすみですか。ずいぶん探したんですよ。雨降ってますけど大

丈夫ですか。」「大丈夫です。」ただニコニコしていた。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会（代表W）がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。

文責 高橋 寛

2013, 1月

炊きだし 1月12日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 五橋公園 炊き出し

晴れ。しかし寒さは今日も一日寒い日でした。お出でになったホームレスの方43人。最近女性の方がお見えにならない。心配です。その中で本日のびっくりは、列の中にHSさんがいたことでした。つい2日前に会ったばかりでした。きょうの炊き出しの帰りにもセット品とおむすびをもって西公園石碑裏の寝場所へ寄ってゆこうと思っていました。また本人は炊き出しにいくらお誘いしても「ひどい目にあったから行きません」としか言わなかった人なので、豚汁のどんぶりを受け取った顔の中にご本人がいたときには最初目を疑いました。「Sさん?」「ハイ」下を向いて照れたようにしています。「まあよかったです、来たんですね。」「31日も3日も来ました」と早口で言いました。「Sさん、咳は?」「だいぶいいです。」「31日は年越しのそばうどんの炊き出し、3日は餅つきの炊き出しでした。後でそのことをHさんに伝えと、知らなかったらしく、どこ?と言って一緒に探しましたが、既にもいませんでした。セット品も取り、豚汁を食べたらすぐに帰ったようでした。暖かく過ごせる場所の少ない年末年始をSさんなりに考えたのでしょう。たいへん嬉しいことでした。セット品の中は、シャツ・ズボン下・トランクス・靴下・タオル・歯ブラシ・カミソリ・粉石鹸・ゴミ袋・ホカイロ5・マスク2それに、今回は毛糸の手袋と仙台市から預かったアルファ米のパックが配られました。

いつもの中心スタッフが不在のことから、12時炊き出し開始のあいさつをするよう指名されて大変慌てました。そこで次のように大声で述べました。「みなさんおはようございます。きょうはいつものセット品にこの手袋と市からのアルファ米が付きます。スタッフとしてボランティアに高校生が6人、それに語学の留学生が3人入り一生懸命準備を手伝いました。寒いですからどうぞ暖かいものを召し上がって下さい。よろしくお願いします。」

反省会ではポーランドの方が、「ホームレスの人もボランティアと一緒に準備に働いたり、一緒に食べたりしたのはすごいと思った」と話していました。



記録係を仰せつかりました。



先日9日の夜回りについて生涯で2回目というおむすびづくりをするポーランド女性と。
おむすび経験回数は皆似たようなものかな？



「寒いですね。お茶、コーヒー、紅茶どれでもどうぞ。」



「アルファ米はどうですか？ 手袋どうぞ。」



これこれ、打合せ終わり。提供開始です。



頑張った人、きょうはこんなにバラエティー。

○ 久しぶりに参加してみて、外国人の方ともいろんな話ができ、大きな失敗もなく、とても楽しかった。外はすごく寒かったけど、ホームレスの方たちが喜んでいるのを見て、今回のボランティアに参加してよかったと思います。次回も今回のようにスムーズに楽しくできるように頑張りたいです。(2年)

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

夜回り 1月9日(水)20:10～21:40 晴れ

19時過ぎに出向くと、若い外人の方が3人いた。女性2人、男性1人。教会は開かれたところなので、時々こういう臨時の参加者があり、歓迎している。おむすび作業しながら聞くと、ポーランド一人、フランス二人だった。三人は同じ協会の仲間日本語学習に10月から来ている。東仙台教会にお世話になっている。そんな話だった。三ヶ月ちょっとにしては日本語のうまさに驚いた。特にポーランド娘は時々日本の女子のように「……だしい」とタメ口をきいたので、まいった。聞いたら、お国でも勉強していたということだった。

今夜は仙台市の年一度のホームレス概数調査日ということで、市内では五つの団体が携わっている関係でHさん不在。追廻・評定河原の分担が入った。Wさんが独りでの負担に配慮してTibさんというフランス人青年をつけてくれた。「歳は？」と聞くと、21歳だった。息子より3歳若い。驚いた。

Tibさんと二人で、かたことの英語・日本語を使いながら回った。夜回りよりもそっちの方が疲れた気もするが、それはそれで楽しかった。追廻から国際センターの裏ベンチ、そして表へ。Tibさんもあ

いさつして回った。評定河原は11月の時と同様MさんとFさんだった。

最後は、西公園。大きな石碑の裏で暮らすHSさん。ゲホゲホという咳を繰り返す。「熱は？ 具合悪かったら市立病院ね。」 気になったので翌日も寄ることにした。

(追)1/9(木)仕事に遅刻して、自転車で寄る。手足が凍った。家内がおにぎり2個にバナナをつけてくれた。それと一緒にコンビニで買った熱いお茶をもって行き、さしだした。Sさん、と言うとビニールシートがモゾモゾ動いて、ごま塩顔と頭の本人が出て、お茶を受け取った。

9時になったらメディアティークね。ハイ。具合悪いときはお医者さんね。ハイ。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表W)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、ご一緒にいたします。

文責 高橋 寛

2013, 2月



お世話になった教会のお姉さんや、日本語を勉強に来たフランス人青年と。

今回は3人の参加になりましたが、頑張りました。あア、充実感。

炊きだし 2月9日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 五橋公園 炊き出し

顧問修学旅行で不在。1年生1個班が3人で参加してきました。

○先生がいなくて心配だったけれど皆で協力してやったら心配はどこかへ消えました。また来年なので、土曜日のことを忘れずに次回も頑張りたいです。(1年)



A

A さし上げるセット品について打合せ中です。
微妙ですが、これ全員スタッフです。



B

B 豚汁をたくさん入れてあげます。



サボって説教されてるんではありません。いちおう打合せ中です。



「ちょっと待って下さい。今サイズを見ますから」

○前回参加したときは春だったためか、前回と違う点なども少しあったり、初めて会う人などもいたりしてました。よかった点は集合時間に間に合ったこと、少ない人数なりに協力し、積極的にいろいろな仕事に取り組めたことです。反省点は、今回初めてまかされた靴の提供係の仕事で、自分たちがマイペースすぎて、プチケンカがおきてしまったことです。今回のように先生がいない場合でもきちんと自分たちでできるようにすべきことを把握しなくてはと思いました。今回のことでホームレスの人たちにとって靴はとても重要だと考えていることが分かったので、次回はホームレスの人たちの立場になってスムーズにできるようにしたいです。(1年)

献品： 小学校から今回もたくさんの献品を預かりました。ありがとうございました。

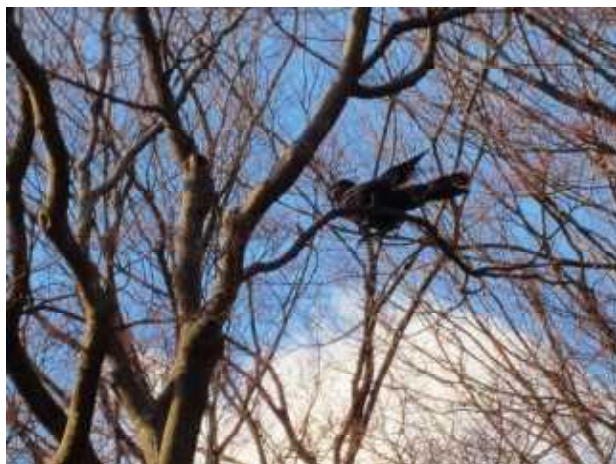
HSさん日記

1月29日(火)16時 暖かな日 メディアテークに寄った帰り路に、思い立って西公園へ足に向けた。道路側から眺めると、石碑裏のHSさんは起きて何か食事をしている様子だった。空からはやわらかい日射しがふりそそいでいた。そののどかな様子に内心ほほ笑んで、車を横付け降りると、歩きだす前に異様な光景に釘付けとなった。石碑の周囲が野良猫とカラスの群れにおおわれていたからである。10匹に近い野良猫はどれもまるまると太っていた。隙あらば下に降りてこようと狙っているカラスの群れも、やはり共食いをしているのかと思うほどに太い。カラスは、弱りそうもない猫を狙っているのか、石碑の裏の住人を狙っているのかと思わせるほどに、不気味な構図をつくっていた。



「Sさん」声をかけにゆくと、ご本人はただいま食

事真っ最中のことで忙しそうであった。周囲のことにはいっさい頓着していない様子だった。「ごはん中ですか。いいですねえ」カセットコンロ上のフライパンには肉野菜がグツグツと音を立てて煮えており、それがいいにおいをさせていた。「まあ、おいしそうですねえ」と言うと、ニコニコしている。おそらくそのにおいが、猫らとカラスを刺激しているのだろうが、いっさい気にしている様子もない。Sさんはまるでこの周辺のあるじのようであった。



2月11日(月)8時30分 コンビニでおむすびセットとホット茶を用意して持参した。猫もカラスもなし。

おやすみ中のSさんを起こした。先週(9日)の炊き出しに行ったこと、夜回りにはHさんが来たことなどを知り安心した。以前には毎回何度炊き出しへのお誘いをしても、行きません、ひどい目にあったから、とばかりくり返してダメだったが。暖はとれるのかもしれない塀の中よりも、寒い列に並んで炊き出しをもらうことを選んでくれたと思いたい。

3月16日(土)14時 家内に作ってもらったおむすび持ってメディアテークへ。不在。寝場所へ。ここも不在。肥えた野良猫が4匹土手でゴロゴロ日なたぼっこをしていた。

3月23日(土)13時半 募金活動の帰り路、用意しておいたおむすびとホット茶をシートの中へ置きに寄った。念のため「Sさん」と言う。するとシートが動き出して、手が出てきたのでびっくりした。「もうおやすみですか?」「ハイ」「おかわりは?悪いところは?」「だいじょうぶです」「ではハイ」おむすびを押し込んだ。



ボランティア参加の皆さんと。はい、ポーズ。あっコワレタ。

さて、参加した生徒はどこでしょうか？真ん中に小さく一人います。それです。

(注)最初横並びだったので「つまらないからグチャグチャに」と言ったら、こうなりました。

炊きだし 3月9日(土) 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 五橋公園 炊き出し

お出での方47名。内女性ゼロ。同好会から3人参加の予定が、一人に。これはこれまでで初。前日までの学年末考査が終了したばかりの影響でした。その一人だけの参加は、ちょうど同好会の部長。終了後の活動証明書には、「今回は残念ながら O 部長一人の参加でしたが、十人前の仕事をしてくれました。感謝です。」と言う W 会長のお言葉が添えられてありました。お世話になって、感謝までされて。お礼の申し上げようありません。また、ボランティア団体の外国人青年の皆さんがとても熱心でいい方たちで行く度に交流が深まります。フランス人の Tib さん(男)は月一回会うごとに日本語がどんどん達者になっていてびっくりします。(皆昨年10月に来日して東仙台教会の施設で自炊しながらお世話になっているとのことです)同じフランス人の Sil さん(女)はお国で毎週末ホームレス支援活動をしてきた人です。ポーランド人の An さん(女)は夜回り準備ではじめて会った時に上手なタメ語を話していたほどです。この人は日本の食べものが大好きです。他にもう既に数年日本にいるアルゼンチンからの Sib さん(女)は普通に日本語を話していました。このような交流も楽しみなものです。また学ぶこともたくさんあります。本校の部長は皆さんに可愛がられお世話いただきました。



A

A 準備中。ポーズも。



B

B お茶の係です。



衣類をさし上げたり、片づけたり。

○今日は一人の活動で不安でしたが、ボランティアの方々と協力し合いながら楽しくできたのでよかったです。わざわざ外国からボランティアをしに来る人がいて感心しました。私も少しでもいいから誰かの役に立てるようになりたいと思いました。（2年）

献品： 小学校から今回も米や衣類の献品をたくさん預かりました。また献金も預かりました。

高校の卒業生の方からも多大な献金を預かり、確かにお届けしました。ありがとうございました。

夜回り 3月6日(水) 20時

Kuさんの居場所判明。 Hさんからの情報でした。東北大学正門前の公園。（柳町公園）

（ボランティア同好会）



ボランティア参加の皆さんと

新年度が始まりました。本年度もよろしくお願いします。生徒がまたお世話になります、と正平協の皆様へ申し上げました。新入生の入部はまだ数人です。わが同好会はすぐに食いつく活動とはなっておりません。みんなやってみたい運動部や楽しそうな文化部に流れます。今年は特に軽音楽部が人気のようです。世の流れです。ボラ同好会は年度途中から入ってくる人も多いです。それもいいです。思い立ってやってみようという人を誰でも歓迎しています。

炊きだし 4月13日(土)晴 9:00 元寺小路教会に集合・準備。12:00 五橋公園 炊き出し

お出での方50名。内女性ゼロ(ただし同居の2名分持ち帰り)。お出でになる全員に配るセット品の準備——パンツ・シャツ・タオル・ひげそり・洗剤・靴下・歯ブラシ・ゴミ袋。今月は靴の提供もあり、準備大変。でもボランティアに外国人青年の皆さんもいて大変手際よく進行しました。

同好会からはベテラン(?)の3年生5人が参加しました。今回で何回目の参加かと聞いたら、自分でもよく分からないと言うから、それほど参加しています。だから当然かもしれませんが、何をしたらよいかも分からずしかも人にも聞けずにいた初期の頃とはうって変わって、皆さんの中に混じって手際よく動いていました。感心し、嬉しく思いました。卒業まで後何回の参加になるか分かりませんが、大事にし、ひとりひとりの思考回路の糧にしてほしいと願います。



衣類整理。黙々と。もっとも、普段も話しません。

- 三年間ボランティアをやって来て、一年生の時はとまどうこともたくさんありましたが、今はだんだんとなれてきて積極的に動くこともできるようになりました。自分のためにも、これからも炊き出しに参加したいと思います。
- 3年生になって初めての炊き出しでした。だいぶ流れが分かってきたので積極的に手伝うことができたと思います。1年生の頃は指示されるまで動けないような状態でしたが、自分から人に聞いたりすることができました。ホームレスの人にも話しかけることができて良かったです。



こんなに混雑。



しかたないから、外からパチリ。ニッ。

- 今回ボランティアで初めて外国の方と一緒にになりました。ボランティアの数は多かったのにホームレスの方の数も多くて現地では手間どってしまいました。もっと早く動けたらよかったなと思いました。



おむすび渡し係です。



ぶた汁、トン汁、ああ忙し。

- 今回はボランティアの中に外国人の方がいて、時々話しかけて下さったりと楽しくできました。一方、ホームレスの方は今までにないくらい多く大変でした。これまで約2年間、ボランティアを通して「人の役に立つ」以上のことを学べたと思います。残り半年ということを意識して頑張ります。



靴のカードに書いてもらいます



「どうぞ、それいいですよ」

○何度かこの炊き出しに参加させていただいて、いろんな人と協力し合い、ホームレスの方々のために役立てられて、本当によかったなと、改めて思います。

(ボランティア同好会)

夜回り 4月10日(水) 20:15~21:05

「An さん(ポーランドからのボランティア女子)一緒に」と W さんが、ニツと笑って言った。こちらは、正直ちょっとめんどくさいな、一人の方が気楽、と瞬間思った。でも外国人を案内して歩くのも大事な仕事。W さんの意図をくむ。まわりながらのお世話よりも、英語交じりの会話にくたびれた。まわりながらトーンの高い会話がとぎれない。西公園は夜桜花見の時に入っていた。日本人は桜の下でエンカイが大好きです。エンカイ? そう、パーティー。ああ、オッケー。ワタシもエンカイ大好きデース。ワー、イイナイイナ。(助手席で大騒ぎポーランド女子)サクラは日本の国の木です。ああ、ジャパニーズシンボルトウリー。ポーランドは何? ポーランドはシンボルフラワーもトゥリーありません。シンボルアニマル。イグ。イグ? そう、センドイのヤキョウチーム。野球? …ラクテン? …イーグルス? そう、イーグルス。ホワイトイーグルス。ホワイトイーグルス? はあ、かっこいいねえ。そう、ホワイトイーグルスはポーランドにしかいません。なるほど。(……こんな感じ)国際センターの裏道。An さん歩きながらチョー元気声。ワーキレイ。この花は? ウーン忘れた。ハッハッハー。西公園。肥った猫があちこち走り回る。S さん、と呼ぶとシートから顔がでた。きょうは外国のボランティアの人と一緒にですよと言う。すぐ横から、An といいます、ヨロシクオネガイシマス。大きい声。S さん困っていた。炊き出し来ますね。ハイ。

(高橋)



いつものメンバーのようになりました

炊きだし 5月11日(土)曇りのち小雨

9:00 北仙台教会に集合・準備。 12:00 五橋公園 炊き出し 14:00 元寺小路教会 反省会

お出での方40名。内女性ゼロ(ただし同居の女性2名分持ち帰り)。HS さんも来ました。年中同じ格好なのですぐ分かりました。この日は今にも雨の落ちてきそうな空の「機嫌」との競争でした。通常とは逆パターンで衣類提供をしてから、豚汁・おむすび配りになりました。生きるためにプライドを捨てて配給の列に並びに来る人に交じって、生活保護を受けている元ホームレスがおり反省会で話し合いの話題になりました。元ホームレスの方を出入り禁止や排除するのではなく、係として何か役割を付けられたらいいなと思います。テント生活者からは蚊取り線香の要望があり、ちょっとびっくりものでした。

同好会からは3年生2人と新人の1年生3名が参加しました。びっくりしたのはその1年生が落ち着いていたことでした。普通にスムーズに参加していて、反省会の時には「たのしかったです」と言っただけ、たいしたものだと思います。



衣類整理の新人。黙々と。

- 初めてでとまどうこともありましたが、みんなで協力しながらたのしく活動できたのでよかったです。ホームレスの方々も「美味しいね」などと喜んでいてくれて、その姿を見てとてもうれしかったです。次回はさらにてきぱきと動けるように頑張りたいです。(1年)
- 初めてのボランティアだったのですが、思ったより楽しかったです。あまりてきぱきと動けなかったのが、次回頑張りたいです。そしてたくさんの人の役に立ちたいです。(1年)



採寸してたんでゆきます



写真でにっこりポーズ。でも、3年生は全体計画作りを任命され、実はまいってます。

- 久しぶりに参加したが、前回に比べホームレスの人が少なく感じた。ボランティアに外国人も参加していて、たくさん優しい人がいるんだと思った。ホームレスの人たちもおもしろい話してくれたりしてすごく親近感がわいた。今回がいったんは最後の参加となるが、機会があったらまた参加したい。(3年)



この世には、にぎる人の数だけおにぎりの形があり



おむすび渡し係です。



セット品です。

- 前は遅刻してしまい仕事がありませんでしたが、今回は最初から仕事をしてすることができて、こんなに準備が大変なんだと感ずることができました。機会があったらまた参加したいです。(3年)



雑貨コーナーです。



「どうぞ、それいいですよ」

- 良いことした気分になりました。ボランティアの方がみんなやさしく安心しました。反省会のアイスもおいしかったです。初めてだったので動きがはやくなかったり、仕事がうまくできなかったのも、次の時はもっと考えててきぱき行動したいです。(1年)



予定では進路が忙しいから最後の参加記念のポーズ。
それで笑顔、ではありません。さみしいのです。

献品： 高校職員から衣類を預かりました。小学校保護者からタオル箱セット・タオル・バスタオル・トレーナー上下・トレーナー・ジーパン・米50g、2K、5K預かり、届けました。
ありがとうございました。

(ボランティア同好会)

夜回り 5月8日(水) 18:50~21:10 晴 風寒し

20年来の友人から夜回り同行の申し出あり、教会で待ち合わせした。おむすび作りなどの準備に加わり、一緒に夜食後、二人で夜回り。国際センターの裏ベンチからスタートする。ここは10年以上通い声をかけているけれども本人はいつも寝たままで返事は返ってこない。だから顔は一度も見ることがない、と言うと、友人はびっくりしている様子。一つ一つのことに驚いていた。表ベンチは岩手のSkさん。「おじさん」声をかけると起きあがる。健康状態を聞く。土曜の炊き出しのお誘いをする。無料健康診断の話も伝えた。暖かいみそスープ2杯作り、友人が渡した。

「(おれは)寂しいなんて言っていられないなあ」友人が車中でつぶやいた。鼻水をすすっている。彼は事情あって今一人暮らし。最近会う度ごとに、苦しい胸の内をぶつけてきていた。夜回りでホームレスの起居の状態を初めて見る人には、当たり前なのが驚きとなる。「寒い日はどうするの?」「やっぱりベンチに寝てる。」「ベンチって外の?」「ベンチは家の中にはない。外のベンチ。1月・2月の厳寒の時も、同じように外のベンチで皆寝てる。」「雨とか降ったら?」「大体そのまま寝ている。ひどいときは雨のあたらないところで朝まで待つ。で、暖のとれるところへ昼間移って、ジッと過ごす。」

西公園のSさん。声をかけると、シートがめくれ上がって上半身を出した。友人は圧倒されていた。「おっちゃん、鍋出して。」残りのみそスープをドバドバ入れた。Sさんはずっと炊き出しに来るのを拒んでいて、と車中で友人に説明をした。ひどい目にあったからとしか言わなかったが、本当だったと思う。来ない間、寒い冬場は、何度も無銭飲食やあんパン1個の窃盗で牢屋に入って過ごしてきた。半年くらいして公園に戻っても、炊き出し誘いには拒み続けた。それが、去年の暮れから欠かさず炊き出しに来るようになった。「心を開いたんだね」友人が言った。

「すごい活動だな、大学時代からやってんの?」「うん」「歴史あるな」「たぶんおれは、人とのつながりを断って死と隣り合わせでいる人に関わることで、自分と向き合ってきたのだと思う。」

公園のトイレの中を一緒に見て回るが、不在。身障者用のトイレに電気がついていて明るい。声をかけたが返事がない。

メディアテーク1階。中年男性がひとり荷物二つ置いて手すりに寄りかかっている。目があつた。視線そらす。意を決して声をかけると、応えてくれた。ホームレス歴1年半。炊き出しに来たことなし。いったんは拒否したおむすび・ゆで卵を「それじゃああずかります」と受け取ってくれた。

「こういうこと(活動)してると人生観変わるな。」「別に偉いこととかでなく、そうしないではいけない切迫した自分がいたんだと思う」人そのものがかかえる、さみしさとは次元の違う孤独。孤独ともいえない、つねにひとり。

わたし自身が、今夜の夜回りの数日前に、この友人によって、こころをひらく、という体験を思いがけずしたばかりであった。ふたりで居酒屋にいたとき、友人はいつもの苦しさから、「おれは子どもの時からずっと傷ついてきた。それが癒されないと、前へ進めないと気付いた。」と話し出した。聞きながらフツとわたしも口が開いて、「…おれは本当には人を信じたことがない気がする。」と言うと、「…知っていた。そう思っていた、ずっと。」そこで気が楽になったのか、思いがけずこんなことを話した。「…おれのような疎くて迂闊なものでも、50年も経ってやっと気付くこともある。最近やっと気付いたことがある。6歳の時に母親が死んだ。農業で。目の前で苦しみながらのたうち回っていた。」「事故で?」「うん。死んだら、口元がいつもの笑顔に戻っていた。死ぬこと生きることばかり考えるおれは、6歳の時から時間が止まったままの自分がある。それに気付くのに、おれには50年必要だった。」

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表渡辺清)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。

(高橋)



今回は、ついにこんなことになりました。お声をかけたら、すぐに全員になったのでした。これで全部です(顧問を除く)。皆生徒がいつもお世話になっている方たちです。ナミダの出るおもいです。さ〜て、生徒はどこにいるでしょうか？7人です。…ところで今気づきましたが、こうゆう時って、皆さんいい顔ですね。ご自分が一番生き生きしているときなのですね。

炊きだし 6月8日(土)曇りのち雨、のち晴れ

9:00元寺小路教会に集合・準備。 12:00五橋公園 炊き出し 13:30 教会で反省会

お出での方40名。通常どおり列を作ってセット品・おむすび・豚汁配りといつものとおりの順番で進みました。たくさんの衣類もシートの上に並べられて、すっかりスタンバイしました。ところがそれから、この日、炊き出し始めて以来のできごとになりました。にわかに空があやしくなり、ポツポツと始まりました。シートをかぶせて木の下に皆で身を寄せ、空の落ち着くのを待ちました。でも、雨はしだいに強まり、ザーと音を立てて降りしきります。お祈りしてみても遅し。雨はますます激しくなりました。みんなで空模様の相談をしました。その時、「衣類提供中止」Wさんが宣言しました。そう言われて、皆さんが帰っていきます。そうして、おおかたの人がいなくなった頃、雨があがりました。「上がったから、衣類ほしい」と言いだす人がいて、持って行ってもらいました。雨で半分はグチャグチャでした。反省会の時には、雨を恨んだ話が続きました。そんな中でも、半年前から夜回りと炊き出しに参加しているヨーロッパ人ボランティアグループの方たちは、こう言いました。「とても楽しかったです。雨のおかげで、私たちはホームレスの方とも木の下でいろんな話をすることができました。ありがとうございました。」ニコニコして言いました。このことばに、気づかないでいたたくさんのことを教わり、学びました。私たちは、どうして簡単に、そしてまたなんとすぐに、目の前の「不幸」に不幸を感じてしまうのでしょうか

このめったにない日の、同好会からの参加生徒たちに、幸あれ。1年生4人。2年生3人。

ありがとうございました。



衣類整理の高1新人。ういういしく一生懸命です。



こちらも熱心にセット品をつくっています。

○はじめての炊き出しボランティアでした。当日の朝は慌ててしまい、エプロンを忘れ、教会の近くの100円ショップへ買いに行きました。準備の時には、外国の方とも協力できました。満足のゆく活動ができたので良かったです。(1年)

○初めての経験で、戸惑うことも多かったが、大きなミスをすることなく無事に終わることができて良かった。先輩方を見ていると、指示される前に自ら行動しており、見習わなければいけないと思った。次回は、ホームレスの方々、ボランティアの方々との会話を増やし、もっと触れ合っていきたいと思う。そして、常に自分のできることを探し、与えられた仕事は最後まで責任をもっておこないたい。コミュニケーション力をつけて頑張りたい。(1年)



おむすび手慣れている？



全員集合の作業です。

- 今回3回目だったんですけど、前2回とも調理担当でしたが、その時教わった料理のしかたと今回のが違って、とても勉強になりました。突然の雨で驚いたけど、全員で協力してできたので良かったです!!(3年)



あっ先輩、それいいんですか？ ——いいのよ、いいのよ。



セット品ですよ。



おじさんたちをみて気遣います。

- 良かったことは、前の時よりもスムーズに動くことができたことと、ホームレスの人たちとたくさん話すことができたことです。反省点は、後輩にもっと的確に指示を出せば良かったことです。急な雨で、大変なこともあったけれど、楽しく活動に参加できたので良かったです。(2年)

献品： 今月も小学校保護者より。衣類や米・玉ねぎ・海苔などの献品をお預かりしました。ありがとうございました。

(ボランティア同好会)

夜回り 6月5日(水) 19:00~21:10 晴

16:45 友人と待ち合わせした。年齢層の高い正平協にとって、夜回り準備の時にも、若い外国人ボランティアの方たちの存在力は大きい。食事への感謝の姿勢も教わった。おいしいおいしいと言って、ほんとうにおいしそうに食べる。場が明るくなる。

今日は先に勾当台公園の巡回を頼まれた。ここには今は、「大統領」と呼ばれる人物が一人いるだけだという。Mkさんのことだろう、とすぐに思った。18年ほど前に仙台の街ではじめて夜回りに加わっていた頃から「大統領」はいた。Mkさんと呼んでいた。見かけると、当時持っていたタバコを2~3本分けてあげた。タバコ好きなので、喜んでくれた。……勾当台は不在だったので、おむすび類だけ置いて他を回り、帰りにまた寄ったら、いた。やあ、Mkさん、と声がけするとキョトンとしていた。無理もない。私は最近街に出ないし、ここにも寄らないから、Mkさんに声をかけるのも実に久しぶりである。今はタバコはありません。今度あったらあげますね、と言っておいた。これが再会のあいさつだった。

国際センター裏。顔を見たことない方へ声がけしてくる。表ベンチは空だった。

桜ヶ丘公園のHSさん。呼ぶとすぐに起き上がった。おっちゃん(と呼んでいる)。この間置いていったおむすび分かった? —— ハイ。—— 昼間どこいるの? メディアテーク探しても、いつもいない。—— (いるのは)メディアテイクか市民センターか県庁。……汁を鍋へ。米、ボンベ、蚊取り、おむすび・ゆで卵、……あっ、おっちゃん、ヒゲそった? すっきりしてる……。ハイ、そりました。—— フフフ。いつ? どこで? —— きのう、トイレで。—— ふーん、よかったね。…ふろは? からだは洗ってる? —— 洗いません。……あくまでニコニコしていた。

「生きるか死ぬかの人たちだべえ。」という友人のことばに、「おじさんたちは生きるか死ぬか、考えたことはあっても、考えながら暮らしていないと思う。生きているから、どうやって生きようかと思っていて、ゆきずまってダメなとき、その時死ぬかな、と思うのじゃないかな。」と答えた。

HSさん日記

6/28(金) 校外行事の帰りに寄る。17:30 声をかけると、もうおやすみ中だった。「食べれてますか? 手もとに何もないので、おむすび買ってきますか?」「いやいや、大丈夫です。」— なんだか、慰められたような気がした。これから先、Sさんはどうするつもりですか、と、いつ聞こうかと考えていた。公園の中にはよく肥えたネコが何匹もいたが、この日はその栄養の源を見かけた。自転車をとめた中年のご婦人がかごから大きなビニールタッパーを取り出して、歩いていた。容器の中にはなにやらたくさん詰まっていた。なるほど。あれか。

6/29(土) 街中での活動へ向かう途中、おむすびを置きに寄った。9:30 不在。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表W)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。

(高橋)

炊き出しボランティア通信 vol 71 2013, 7月



はい、皆さんへんな顔してくださいー！！と言ったら、見ると普段のお顔でした。
今回は、ダイコンむすめ3人の参加となりました。

炊きだし 7月13日(土)曇り

9:00元寺小路教会に集合・準備。 12:00五橋公園 炊き出し 13:30 教会で反省会

お出での方48名。あやしい空模様です。先月のことを教訓にして、衣類提供を先にしました。やはり、途中でポツポツ落ちてきました。豚汁を食べる頃は、皆雨の中でしたが、かまいません。

今回の参加生徒は、2年生3人となりました。他校から単独で参加に来ている生徒もいて、感心しました。

ありがとうございました。来月は普段参加できない生徒が来て、多くなりそうです。正平協にご迷惑かけます。



衣類整理。手つきが落ち着いています。よろしい。

○今回のボランティアは少人数だったけれど、割と丁寧にすることができていたと思います。ホームレスの人に喜んでもらえて良かったです。次回は今回よりも素早く動ければいいです。またもっと多くの人が参加できればいいと思いました。(2年)

○参加2回目となりました。いろんな人と交じり合って良かったです。雨の日だったんですが、いつもどおり終わりました。今回の参加者は少なかったですが、友だちを誘ってきて良かったです。外国人の参加者がいてちょっとびっくりしました。でもみんなと話ができとてもうれしかったです。次回も楽しく、がんばっていきたいと思います。(2年)



おむすびOK !?



大粒落ちてくる前の、大忙しの衣類提供です。



はい、ポーズ、にのってマス



おむすび配り仕事中



セット品確認です。



コーヒーコーナー専門ボラ外人むすめと。
仕事の腕はプロ並みです(セルフサービス)。



今日の中で一番真剣な時間か!?



豚汁の残り物は、お家へのお土産です。
持ち帰るように、厳命されました。で、このヨロコビの顔です。



ほぼ全員集合です。(写真撮ってる顧問のぞく)
フーツよかったア。むすめたちのオタケビで、カメラが壊れるかと思った。

献品： 今月も小学校保護者より。衣類などの献品をお預かりしました。ありがとうございました。
(ボランティア同好会)

夜回り 7月10日(水)体調を崩して、この日はおやすみした。友人が若い人を連れて参加してくれた。

HSさん日記

7/6(土) ボランティアの校外活動へ向かう途中おむすび持って石碑裏へ寄った。不在。シートの中に入れた。周囲の草がきれいに刈り取られたばかりだった。とてもありがたいと思った。近くで一服していた5人の作業員の方たちに思わずお礼を言いたくなった。メディアテークをのぞきに向かった。

7/13(土) 炊き出し日。Sさんは、なにやら身ざれいにして列に並んでいた。豚汁の食事後、周囲の人たちと一服しながら会話をしていた。はじめて目にする光景だった。驚いた。

7/20(土) ボランティアの校外活動へ向かう途中おむすび持って石碑裏へ寄った。不在。シートの中に入れた。メディアテークをのぞきに向かう途中、毛並みと体格のよい猫5匹が道ばたでくつろいでいた。中年のご夫婦が自転車を止めて、わきに荷物(多分猫のエサ)を置いて、ご婦人が猫たちにしきりに話しかけていた。これはもう猫たちのパラダイス。置いてきたSさんのおむすびをかぎつかれる心配もないと思った。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表W)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。



あれえ、あれれえーと、カメラを向けながら何度もうなりました。うちのボラっ娘(こ)たちは本日9人お世話になったのですが、4人足りません。終了後、集合をかける前に、ただちに自主的に帰途についたに違いありません。……顧問の連絡モレでした。(フーツ)

炊きだし 8月10日(土)曇り

9:00元寺小路教会に集合・準備。 12:00五橋公園 炊き出し 13:30 教会で反省会

お出での方45名(女性0)。本日のメインデッシュは仙台名物「おくずがけ」といいました。。Hさん作です。もともと、あんかけにしないから、正確には「おくずがけもどき」だそうです。そうめんの上に具だくさんの汁をたっぷりかけていただきました。うんちくとして、ウーメンとソーメンの違いまではじめて知りました。Hさん物知りです。変おいしいです。『ボラっ娘(こ)』と名付けてみた同好会からの参加は、今回9人と大人数になって、正平協の皆さんにお手間かけさせました。普段の土曜日は授業があるために参加できない中学生も入っているためです。夏ボラ時期なので、公立校からも2名参加していました。皆よく働きました。そして正平協の皆さんは、実に忍耐強かった。自分ですとすぐに済むところを、中高生にさせてジッと見守って下さった。頭が下がる思いでした。



さあこれ全部やるのよ。



うちのお父さんのでさえこんなに整頓してあげたことないし……？

○今回初めて炊き出しボランティアに参加したので、どんなことをするのかとかあんまり分からなくて不安だったのですが、他の方々が優しく教えてくださったので、とても助かりました。もう少し、自分から進んでお手伝いできればよかったなと思いました。次回はもっと頑張りたいです。(中3年)



テキパキテキパキ、セット品作り。



カタッ、カタッ。切る音でした。わきで、指導のご婦人が見守っていました。



そうそう、そうねえ。

○はじめての炊き出しで、調理が楽しくて、実際にもホームレスの方と初対面しました。苦しく困難な中であって懸命に生きる人たちのために、笑顔であいさつをして、おにぎりを配ったりしました。私にとっていろいろな人たちと協力することは楽しいです。(高1年)

○炊き出しボランティアに今回初めて参加してみて、わたしが「ふつう」と思っていることが一番だなと思いました。ふつうに服を着れて、ごはんを食べれる生活が一番だなと思いました。(高1年)



自分のにぎったものです

○ホームレスの皆さんのために、服の準備、下着の準備、ごはんの準備をきちんとできてよかったです！！でも、おにぎりをにぎるときは、熱いのに気をつけながらきれいにおにぎりたかったです。（中1年）



ごようすをうかがいます。おむすびどうぞ。



ハイ、こちらです。



こんな大きさです。



どうぞ手に取ってみて下さい。



あなたも何か言って。



ここなかなかいけないうえ。どうぞ、見て下さい。

○久しぶりに炊き出しボランティアに参加しました。とても暑い中でのボランティアでしたが、最後まで頑張りました。今回で予定では最後の参加になりますが、機会があれば参加したいと考えています。(高3年)

献品： 今月も小学校保護者より。衣類などの献品をお預かりしました。

高等学校職員からは今回献金を預かりました。ありがとうございました。

「3年間の活動を振り返って」

私は今までに、東日本大震災の震災孤児を支援する街頭募金や、ホームレスの炊き出しボランティアに参加してきました。私はD学院に入学し部活動を選ぶときに、すぐにボランティア同好会に入部しようと思いました。最初は活動の回数が月にそれほど多くないこともきっかけでしたが、振り返ってみて今は、自信をもって入部してよかったと思っています。

同好会での初めての活動は、募金活動でした。私は今でもそのときのことをはっきりと覚えています。正直、何をしたらよいのか、どういうふうに声をかけたらよいのか、分かりませんでした。こうして何回か活動していくうちに、班で団結し合い、どうしたら市民の皆さんが耳を傾けてくれるか、何度も話し合いました。そして、いろいろなことを工夫していくうちに、先生から「この班は一番声が出ているし、遠くまで響いていていいね。表情がみんな自然と笑顔になっているのいいね。」とほめられるようになったし、市民の方も「お疲れ様」「頑張ってるね」など声をかけて下さるようになりました。私は募金活動を通して、初めて出会う人々に思いを伝えることの難しさを学ぶことができました。

また、ホームレスの方への炊き出しにも参加してきました。最初は本当に大変で、周りにたくさん迷惑ばかりかけました。でも何回か参加しているうちに慣れてきて、笑顔で終えることができるまでになりました。3年間欠かさず続けてきて、本当によかったと思いました。

私たちが行ってきたことを、後輩に引き継いでいけたらと思っています。

3年間ありがとうございました。

(高3年)

(ボランティア同好会)



本日は、炊き出しの開始に先立ち、この1年間の間に路上で亡くなられた方をとむらう「偲ぶ会」です。

KS住職(徳照寺)が参り、お経を唱えてくださいました。皆でお焼香しました。炊き出しボラ初参加1年生もていねいに拝みました。内容が分かっていたかは、尋ねるのを忘れました。でもいいんですね。こうしてもらって、喜んでくれていると思います。

炊きだし 9月14日(土)晴れ

9:00元寺小路教会に集合・準備。 12:00五橋公園 炊き出し 13:30 教会で反省会

公園にお出でになった方は42人でした。きょうの炊き出しにはたくさんの外国人ボランティアが参加していて、生徒にとっては刺激にあふれた日でした。進路もまだ決まっていない3年生たち5人と、初参加の1年生6人の組み合わせになりました。「3年生は進路活動のため、とりあえずラスト参加になるかもしれませんので、心残りのないように休みなくお仕事すると思います。」と、Wさん(会長)にお願いしました。その結果、3年生はヘロヘロに。しかし、さすがでした。仕事の忙しさに文句を言いません。感心しました。疲れても、元気に騒ぎます。

終了後の反省会では、Wさんが粋な進行をしてくれました。「3年生は3年間の参加の感想と1年生への激励を。1年生は初参加の感想のほかに、3年生への一言を言いましょ」と、教師顔負けの指示をしました。

「この活動をしていて大事なことは、笑顔だと思います。」3年生がこう言って、顧問はドキリとしました。

「こういう経験(炊き出しボラ)はなかなかできないことなので、私としては得がたいたくさんのことを得たので、後輩たちにも3年間続けてもらって、頑張ってもらいたいです。」また顧問は、一人で心の内で感動などしておりました。そうやって一人一人が語りました。また1年生たちは、「こんなに大変とは思いませんでした」と初感想を正直に語り、「先輩お疲れ様でした。進路に向けて頑張ってください」と、きちんと述べ、感心いたしました。



3年生の動きはテキパキと。さすがベテラン。



信じられないほどに、黙々と。

○最後のボランティア活動だったので、いつもより気合いが入りました。全員そろって、協力し合っでできたのがとてもよかったと思いました。1年生や外人の方などと楽しく活動することができ、思い出に残りました。ホームレスの人たちの人数もいつもより少なく、少しずつですがよくなっているのかなと思いました。(高3年)



初参加の1年生たちは、何もかもめずらしくて……。

○初めての炊き出しボランティアの活動に参加して、たくさん学ぶことができました。いろいろな国の方々と活動することができ、いい経験になりました。3年生の先輩方は「笑顔」で積極的に活動していたので、見習わなければならないなと思いました。来年、再来年自分たちも先輩方のように活動してゆきたいと思います。(高1年)

○皆さんと仲よく炊き出しができました。おにぎりを握るのが熱くて、熱を取るのに少し苦労しましたが、ホームレスの皆さんに喜んでもらえましたし、「おいしい」とかうれしいお言葉もいただけたのでよかったと思います。3年生が引退ですが、教わったことを次回につなげられたらと思います。(高1年)



リーダーは、すっかりWさん直属の部下になって、とても幸せなことです。
フーツ疲れたーと、何度か耳にしたけれど、いいことでした。

○初めての炊き出しボランティアでした。私たちだけではなく、外国の方たちも一緒にボランティア活動をしました。先輩とは最初で最後の一緒の活動になりました。次回からは先輩みたく積極的に頑張ります。自分から行動し、先輩に教えていただいた「笑顔」を忘れません。(高1年)



和尚さまが最初の説明をなさいました。



お経を唱えます。



皆でご焼香です。



いよいよ、やっと炊き出し開始です。
やれやれ。



コーヒーコーナーの娘セットです。
ウリダシチュウです

○炊き出しの準備をしたり、おにぎりや電池、服類を並べたりなど、スムーズにやることができたが、もう少し早く準備できるようにしたいと思った。自分からホームレスの方と接することができなくて残念だった。次回は自分からいきたいと思った。(高1年)



なぜこんなことに？ 誰かが、はいー皆さんこっち、と言ってカメラを向けたもんだから、炊き出し中にもかかわらず、おじさんたちに申し訳ございませんでした。……「若い人たちがいると、にぎやかでいいねえ」と言われました。



衣料提供が始まりました。ちょっと緊張の1年生。



お靴ですね、これに書いて下さい。
部長は慣れています。



大きさ合いますか？



品定めをしています。



選ぶのを待って、見てます。



はいこれですか？



今回は、ご覧のような日本のむすめたちと、たくさんの外国人ボランティアと、教会の方たち、それとオヤジでした。この後に同好会メンバーだけで撮り、そこで3年生たちはまた声をそろえて「3年間ありがとうございました」などと言ってきます。つくり泣きで応えながら、ほんとうに涙がこぼれそうになり、アブナイアブナイ…。

生徒たちにとってボランティアとはなんだろう、と考えるときがあります。それはこの日3年生たちと一日お伴したからでしょう。ボランティアで得るものは、アルバイトとも違う。お金は、ほしければバイトをすればいい。しかし、アルバイトをしている生徒も、頼みもしないのにボランティアにやってくる。そして、目を見るほどにバリバリと動く。どんなに大変でも心を動かすものが、ボランティアにはあるにちがいない。参加回数を重ねるごとに、自分の中に受け取ってゆくものがあるにちがいない。それは、ありがとう、ということばの重みだったり、初めて会う人たちとの共同作業だったり…。

いずれこの日も、顧問は生徒たちに「心の宝もの」をいただいた、と思いました。「ありがとうございました。」ということばは、むしろ顧問から生徒たちへの思いでもありました。こういう生徒たちに出会えたことに感謝しなければなりません。また、活動をし通すことのできたことに、その支えとなった正平協に、生徒のご家族に、学校に、感謝です。

募金の時も、炊き出しボランティアの時も、始まる日の朝、参加する生徒たちのために祈ります。豊かな恵の日となりますように。生徒にとってよい経験と出会いの日となりますように、と。そして、帰りには、お礼を述べます。

献品： 今月は小学校保護者より大量のお米をいただきました。ありがとうございました。

夜回り 9月11日(水) 20:10~21:10 晴

遅れて、参加した。〈Sさん〉セット12345

HSさん日記

不在。

夜回りは毎月第2水曜日におこなっています。炊き出しはその週の土曜日です。いずれも、カトリック正義と平和仙台協議会(代表W)がおこなっている活動に、ボランティアで参加させていただいています。興味のある方は、ご連絡いただいたら、一緒にいたします。



真ん中の3人は、3年間正平協で炊き出しスタッフにお世話になりました。ありがとうございました。
左側の初参加のデビュー組1年生とバトンタッチです。

炊きだし 10月12日(土)晴れ

9:00元寺小路教会に集合・準備。 12:00五橋公園 炊き出し 13:30 教会で反省会

公園にお出でになった方は48人でした。生徒は1年生4人と、今月も今回で参加がいったんは終了の3年生が3名参加し、1年生の先頭に立って働きました。というか、Wさん方に、息つく暇なくたくさんの仕事をいただきました。感謝。ポーズとしたところも多いわが部員ですが、働きだしたら、精魂こめて頑張る人たちです。公園での炊き出しは、とてもいい雰囲気でした。衣類提供では、これから寒くなるので、できるだけ暖かいものを勧めました。スタッフも外国人ボランティアの皆さんも、また生徒たちも本当によくテキパキと働いていました。



記録、分担計画等、さっそくてんやわんや…ヨロシイ。



恒例のおむすびとの格闘！ 初挑戦の1年生も。

○最後の炊き出し活動だったので、一つ一つの仕事を「これが最後だ」と意識しながらこなすようにして務めました。卒業後も参加したいと言ったら喜んでくださったので、ぜひまた参加させていただこうと思った。残りの募金活動も頑張りたいと思う。(高3年)



さすがに手慣れてる……かな？



イヤ、こっちの方が、手慣れてる……ね。

○今回は私たち3年生にとって最後の炊き出しだったので、調理や荷物運びなど周りの仕事を手伝い、最後の最後まで皆さんのお役に立てて本当によかったなと思いました。(高3年)

○今回私は初めて炊き出しボランティアに参加しました。だから慣れていなかったのですが、手伝いの方に教えてもらいながらできたのでよかったです。自分から進んで取り組んでいた3年生を見て、自分もそのようになりたいと思いました。(高1年)



マア、1年生たちは、外国人ボラの皆さんと、ちゃっかり収まっていた。

○今回は2回目の活動だったので、前よりはスムーズにできたと思います。それと、みんなで協力してできていたと思うので、よかったです。今回は豚汁の係で、ホームレスの方に手渡ししましたが、「ありがとう」など言ってくれる方もいて嬉しかったです。反省点は、今回は前回と集合場所が違ったため道に迷ってしまいましたが、次は場所をきちんと確認しておこうと思います。(高1年)

○2回目の参加でした。自分なりに前回よりもスムーズに動けたと思います。ボランティアに来ていた方たちに積極的に声をかけあい、行動できたと思います。(高1)



3年生の代表がスタッフの皆さんへ、用意してきたお礼状を読み上げているところです。Wさん、目を閉じておられます。
そのお礼状のコピーとWさんのコメントが顧問宅へ送られてきましたので、紹介します。

「炊き出しボランティアの皆様

私たち3年生の炊き出しへの参加は今日をもって最後となりました。3年間、少ない回数ではありましたが、いろいろな経験をさせていただきました。最初にボランティアに参加させていただいて驚いたことは、仙台にもホームレスの方がたくさんいたことです。と同時に、社会がすごく厳しいと事実を知らされた瞬間でもありました。

私はホームレスの方々に会うのに恐いと思ったことはありませんが、私のチームのメンバーの中には恐いと思っていた人もいたかもしれません。ただ、私はホームレスの方とどうやって接すればいいのかわかりませんでした。が、後から感じたことですが、ホームレスの方と私たちとは違うと思っていたからではないかと気づき、それではいけないと思いました。すべての人間は平等なのだと考えるようになったのです。それは学校の授業やボランティアを通して知ることができました。いろいろな経験をし、身をもって体験させていただき、私たちは成長することができました。

私たちは高校を卒業いたしますが、これからもボランティアに参加していきたいと思います。どこかでお会いできましたらまたご指導のほどよろしくお願いします。今までお世話になりました。ありがとうございました。

D 学院高校 ボランティア同好会 3年副部長 」

(Wさんより)

「今回の炊き出しでも生徒の皆さんにたいへん助けていただきました。ありがとうございます。

〇先生(もう一人の顧問)にもお世話になりました。(高橋は学校行事で不参加)

3年生の3人組は、今回が最後のボランティアだから思い出に残るようにと、最初から全力投球でした。

副部長の〇〇さんは3年間お世話になったお礼にと、自分の小遣いで買った洋菓子を反省会に差し入れてくださいました。えらいですねえ。感激しました。

手紙は反省会で読み上げていただき、みんなで泣きました。

1年生のみなさんにもよい体験になったのではないかと思います。

寒くなってきたので、どうぞご自愛ください。

感謝のうちに

10月12日 / W 拝 」

ことばを引き出す力が体験の中にあり、その機会を与えてくださる正平協に、感謝のことばが尽くせません。これからもお世話になります。ご迷惑おかけすることも多く、申し訳なく、ですが、よろしくお願いします。

献品： 今月小学校保護者より冬に向けての衣類やお米をお預かりしました。ありがとうございました。

HSさん日記

9月15日(日)

AM 8:20小雨。台風近し。前日の炊き出しに来なかったのが気がかりで寄った。家内におむすびと麦茶を用意してもらい、持参した。不気味な大ネコが自分のそばを警戒もせずに平気で通った。「Sさん」3回呼んだが、返事がこない。シートを持ち上げて、覗き込んだ。毛の薄い頭が見えた。じっと動かない。瞬間気持ちが凍った。モシカシテ…。立ち合うことに？…マズ誰へ連絡？その前にちゃんと確認を…。頭の中がぐるぐる回った。—その時Sさんの頭が動いた。…生きていた。こちらを見上げて、手を振った。声は発しない。『おむすびいらない。来ないで。心配いらない。』おむすびを入れた袋を戻してよこした。それが、無表情な拒否の顔。つい数日前の夜回り時のニコニコ顔からの変化に、ショックを受けた。「具合悪いのですか？炊き出し来ないから心配しました。また来ますね。」これほど拒否されたのは初めて。何かあった？何があった？また人が信じられないことが？64歳のSさんに無慈悲なことが、何か。

PM 4:30 仕事帰り。おむすびセット持参。ただ置いて帰ろうと決心して行っただけなのにニコニコしていた時に、これからどうしたいかを、聞いておくんだって、と思う。公園はドラ猫のやま。「Sさん」やっぱり呼んでしまふ。寝ている入口を塞いでいる布が開門した。奥から、怯えたような、無視するような目が、じっとこちらを見た。「Sさん。おじさん。具合悪い？医者呼ぶ？」黙って首を横に振った。Sさんのこんな目を見たことがなかった。「おむすびをもらってくれる？」はじめて頼いた。「また来ますね。」少なくとも、気まぐれで付き合っているのとは違う。今度、どうしたいか、痛くないか、聞いてみようと思った。公園の道路をノラが何匹も闊歩している。えさを手にした中年の婦人が道路にしゃがみ込んだ。肥った猫がその周りを甘えてスリ添うように回った。こんなにいたか。数えて、8匹。どこからともなく集まってくる。共通するのは、肥ったオス猫ということ。

9月16日(月)家内に使いすて容器にSさんの分のお弁当も作ってもらった。朝から時折激しい雨。さすがに猫は見あたらず。麦茶のペットボトルが空になって外に置いてあった。飲んだんだ。ホッとして嬉しくなる。「Sさん。台風来ますからね。」「ハイ」声が返ってきた。少し戻ったかな。今度元気に話せる時に、これからどうしたいか聞いてみよう、と思った。

9月20日(金)PM 5:30 Sさんの住まいである大きな石碑正面に年配の婦人が腰かけていて、名前を呼びながらノラたちに餌づけをしていた。道路側ではご主人の男性が3匹にエサやりしていた。ノラたちは、ご主人にことかかない。「Sさん」ハイハイ、大丈夫。やっと笑顔が戻ってきた。今度聞こう、と思った。猫のそばには、同じエサを狙ったカラスがすぐそばまで、次々に舞い降りてきた。ホラーの世界を思った。

9月21日(土)AM 7:40 自分の仕事の都合もあり、まだ早いが、弁当をもって、寄った。「Sさん、寝てますか？」2~3度くり返した。その時Sさんが半身起きて、「寝ていちゃダメなの？」と、怒り顔と声でくり返した。あつけにとられて、黙って聞いた。「食べるものあるから。もういいから。」「炊き出し行かないから。来ないで。」持って行っただけのお茶とお菓子を投げ返された。それは地面に落ちた。しばらくジッとSさんを見つめてから、すみませんでした、と言って落ちたものを拾い、そこを出た。…しつこい、と思われるだけになってしまったか。しばらく何も考えられなかった。泣きたいと思った。しかし涙が出ない。ショックだった。しかし、Sさんはもっと苦しいにちがいない。何も分かっていないのは、自分だった。やはり、炊き出しに行きたくない何かがまたあったにちがいない、と想像した。しかしそれを聞く前に、また、これからのことも聞く前に、自分勝手にうぬぼれて信頼をもってもらっていると思い込んでいた自分に、またたとえ少しはそれがあったとしても、自らしつこくして壊してしまったことに、つまり自分に腹立たしかった。こうしたのは自分なので、しばらくは行けない。数日して落ち着いてから、WさんとHさんに、ことの経過と状況を報告し、お願いした。